

Dr. ノイマン ユーザーズ・ガイド

体験版 30日期間限定

目次

第1章 Dr. ノイマンの概要	1
1.1 Dr. ノイマンとは	2
1.1.1 機能と利点	2
1.1.2 プロセスの流れ	3
1.1.3 用語	4
1.1.4 適用範囲	6
第2章 入門編 -- 機械(物)に関するクレーム文の作成	7
2.1 クレーム文作成の流れ	8
2.2 特許文の細分化	9
2.3 特許請求項の入力	10
2.4 訳語の変更	17
2.5 テンプレートの登録	20
2.6 クレーム文の生成	24
2.7 ファイルの保存と終了	24
第3章 入門編 -- IT(方法)に関するクレーム文の作成	25
3.1 クレーム文作成の流れ	26
3.2 特許文の細分化	27
3.3 特許請求項の入力	28
3.4 訳語の変更	37
3.5 テンプレートの登録	40
3.6 クレーム文の生成	44
3.7 ファイルの保存と終了	44
第4章 入門編 -- 特許明細書を読み込んでクレーム文を作成	45
4.1 クレーム文作成の流れ	46
4.2 日本語特許明細書の読み込み	47
第5章 クレーム文の作成	51
5.1 クレーム文作成の前に	52
5.1.1 各エリアの入力項目	52
5.1.2 機械(物)、電気(物)の場合	53
5.1.3 IT(方法)の場合	54

5.2 構成要素	56
5.2.1 要素の分類	57
5.2.2 要素の追加	57
5.2.3 要素の変更	58
5.2.4 要素名の確認	59
5.2.5 要素順序の変更	59
5.2.6 要素の削除	60
5.2.7 要素名を表示する言語	60
5.3 特徴	61
5.3.1 特徴の追加	61
5.3.2 特徴文の位置の変更	65
5.3.3 特徴文の削除	65
5.3.4 特徴文を表示する言語	65
5.4 非構成要素	66
5.4.1 非構成要素の表示	67
5.4.2 非構成要素の追加 / 変更 / 削除	67
5.5 ステップ	68
5.5.1 ステップの追加 / 変更 / 削除	68
5.6 従属クレーム	69
5.6.1 機械、電気の従属クレーム	69
5.6.2 ITの従属クレーム	71
5.6.3 従属クレームの追加 / 変更 / 削除	72
5.7 クレーム文の生成	73
5.7.1 クレーム文生成	73
5.7.2 クレーム文生成の処理	74
5.7.3 和文インポート	74
5.7.4 説明文の作成	77
5.8 プロパティ	80
第6章 テンプレートと辞書	81
6.1 テンプレートの選択と登録	82
6.1.1 テンプレートとは	82
6.1.2 テンプレートの選択	83
6.1.3 ユーザーテンプレートの登録	85
6.2 辞書の参照	87
6.2.1 辞書の構成	87
6.2.2 辞書の参照	88

6.2.3 訳語の変更.....	89
6.3 ユーザー辞書の選択と登録.....	93
6.3.1 ユーザー辞書のインポート.....	93
6.3.2 ユーザー辞書ファイルについて.....	95
6.3.3 ユーザー辞書に単語を登録する.....	96
第7章 文書の入出力.....	101
7.1 文書の入力.....	102
7.1.1 ファイルを開く.....	102
7.1.2 新規作成.....	103
7.2 文書の保存.....	103
7.2.1 保存.....	103
7.2.2 特徴文のエクスポート.....	104
第8章 環境の設定.....	105
8.1 ユーザー設定.....	106
8.2 書式.....	107

第1章 Dr. ノイマンの概要

この章では、Dr. ノイマンの特徴、動作環境、インストール/削除の方法について説明します。

1.1 Dr. ノイマンとは

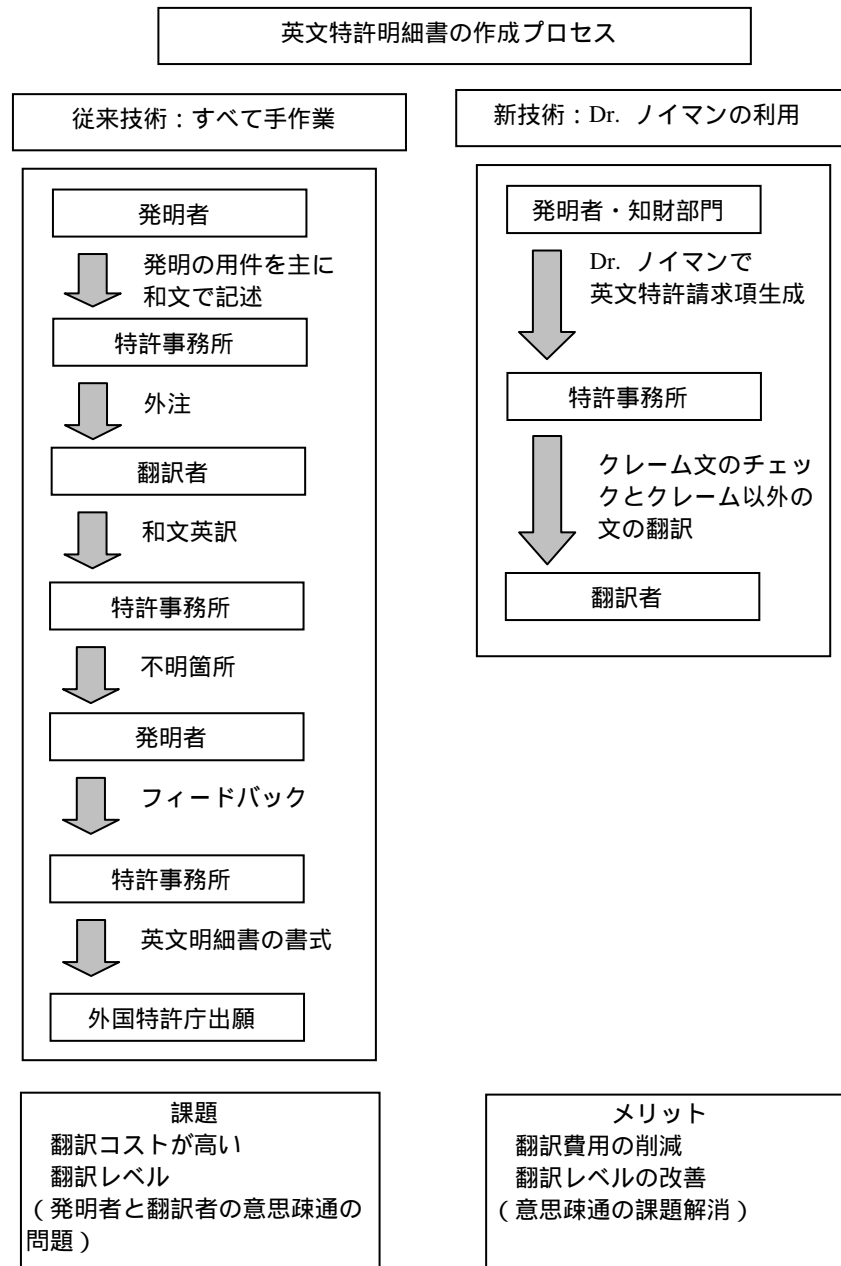
Dr. ノイマンは、発明者自身が発明品の構成要素や特徴、ステップなどを日本語で入力し、欧米特許申請のための英文クレームを自動生成するソフトウェアです。英文特許申請のためには上級の英語力と特許明細書式の専門知識が必要であり、外国特許専門の特許事務所に翻訳も含めて依頼するケースがほとんどです。この場合、依頼金が高額である上に、発明者と特許事務所間の正確な意志の疎通ができずに時間がかかることも問題となります。Dr. ノイマンは、このような問題を解決するツールとして、発明者自身が日本語で入力した要素を組み立てて英文クレームを生成することにより、発明者と翻訳家のギャップを埋め、翻訳コストを削減し、より正確なクレーム文を生成することを目的としています。

また、特許翻訳者もDr. ノイマンを利用してユーザー辞書やユーザーテンプレートを構築することにより、翻訳資産を活用して、翻訳コストの削減と翻訳時間の短縮を図ることができます。

1.1.1 機能と利点

- 上級の英語能力や、法律・特許専門用語・欧米特許庁形式の知識が十分でなくても、英語の特許請求項を作成することができます。
- 発明者が自分の発明の英語請求項を直接作成できるため、従来のように特許事務所と翻訳者に発明要件を正確に伝えきれているかどうかの意思の疎通問題がなくなります。
- 特許請求項の作成のみならず、特許明細書の全文を一括で翻訳することもできます。
- 特許翻訳用の大容量基本語辞書と各発明分野に関する専門語辞書が標準で搭載されています。

1.1.2 プロセスの流れ



1.1.3 用語

構成要素

発明品本体を構成する要素(部分)を言います。たとえば、携帯電話の場合、「本体」、「アンテナ」、「複数個のボタン」が構成要素です。構成要素は、親ノード、子ノードといったツリー構造を持つことができます。

非構成要素

発明品本体の外にある要素を言います。たとえば、携帯電話の場合、「充電置き台」や使用する「ユーザー」、「電流」が非構成要素となります。非構成要素にはツリー構造がありません。発明の分野がITの場合、発明が抽象的であるので、発明関連のものは必ず非構成要素で表現されますが、機械・電気分野の場合は、要素自体の所属(発明品本体を構成しているのかまたは発明品の外にあるのか)によって、構成要素か非構成要素のどちらかになります。

特徴

発明品の状況や動き、または状況の変更を言います。主に、発明品を説明する動詞や形容詞の部分は特徴となります。特徴は要素のツリー構造(親ノード、子ノード)、要素の形や素材、要素間の関係(位置・運動など)、過程、方法などを表します。Dr. ノイマンでは、テンプレートの格要素に要素名や語句を入れて、特徴を作成します。

ステップ

IT分野の特許を構成する順番や階層関係を表す特徴を言います。たとえば、アルゴリズムの順番を説明するステップが、これに相当します。ステップは特徴と同じように、テンプレートの格要素に要素名や語句を入れて作成します。また、ステップは、親ノード、子ノードといったツリー構造を持つことができます。

革新特徴

特許請求項の中の分類で、発明の独創的な特徴の種類(新規的、進歩性)を言います。欧州特許庁は、一般と革新を区別します。米国特許庁に申請する特許には革新は不要なため、すべての特徴は「一般特徴」となります。

一般特徴

米国特許庁に申請する場合、発明に関するすべての特徴は「一般特徴」となります。

欧州特許庁では、一般と革新を区別するため、以下の説明をご参照ください。特許請求項の中の分類で、発明における独創的でない特徴の種類を言います。独創的でない特徴とは、つまり発明したものではないが発明とかかわりのあるものに関する記述を言います。

従属クレーム

先行クレームの引用を持つクレームを言います。

テンプレート

Dr. ノイマンで特徴またはステップを追加する場合に使用する述語（動詞、形容詞）の集まりです。テンプレートは和訳、英訳、格要素のコンビネーションで構成されています。テンプレートの格要素に要素名を入れて、特徴またはステップを作成します。特徴またはステップを作成するためには、必ずテンプレートを使用します。システムテンプレートには、7千語が登録されており、ユーザーテンプレートを作成することも可能です。

意味クラス

テンプレートを分別している15のカテゴリを言います。たとえば、「流れる」というテンプレートは「移動・運動」という意味クラスに属します。ステップの登録の場合は、「ステップ・方法」の意味クラスのみ使用することができます。

格要素

テンプレートにおける要素を言います。格要素のカテゴリには主語・場所・目的などがあります。テンプレートごとに指定可能な格要素は異なります。

1.1.4 適用範囲

- 発明の分野

以下の分野のクレーム生成に対応しています。

- 機械（物）
- 電気（物）
- IT（ステップ）

- クレーム生成の範囲

Dr. ノイマンでは、【特許請求の範囲】における【請求項】を翻訳対象としています。特許明細における【特許請求の範囲】以外の部分については、「和文インポート」機能により翻訳することはできませんが、【請求項】に対する翻訳をメインターゲットとしています。

第2章 入門編 -- 機械（物）に関する クレーム文の作成

この章では、Dr. ノイマンを利用して、機械（物）の発明に関する英語のクレーム文を作成する方法について説明します。

2.1 クレーム文作成の流れ

翻訳対象

特許明細書の【特許請求の範囲】の【請求項1】
従属クレームについてはここでは説明しません。

対象とする発明分野

「機械（物）」について説明します。「電気（物）」の場合も、手順は同じですが、「IT（方法）」は対象外とします。請求項において「ステップ」や「手段」を説明する場合は、『第3章 入門編 -- IT（方法）に関するクレーム文の作成』を参照してください。

英文特許請求項作成の流れ

手順1. 構成要素（物）を入力する

手順2. 特徴を入力する

手順3. クレーム文を生成する

手順4. ファイルを保存する

手順1, 2を繰り返して請求項を作成します。その間、必要に応じてユーザー辞書の登録とテンプレートの登録を行います。

2.2 特許文の細分化

Dr. ノイマンの各項目に入力するためには、請求項をよく理解して、細分化する必要があります。通常、発明者は自身の発明品について熟知しているためこの部分は省くことができますが、出願済みの特許明細書を見ながらDr. ノイマンを利用して英文特許請求項を作成する場合は、この部分が重要になります。次の例文で説明します。

例文

【特許請求の範囲】

【請求項1】洗濯機本体にばねによって支持され軸受を設けた水槽と、前記軸受に支持される回転軸を有しこの回転軸を中心に水槽内で回転するドラムと、前記回転軸に取り付けられ前記水槽の外側に配設されたプーリと、このプーリと洗濯モータのプーリとの間に掛けられたベルトとを備えたドラム式洗濯機において、洗濯機本体をボディと、天板、前板、裏板、底板とで構成し、これら構成部品の結合部にそれぞれ吸振材を介在させてなるドラム式洗濯機。

● 文の基準：1文には動詞を1つだけ含める

特許文を構成要素ごとに細分化します。細分化の際には、1文に1つの動詞が含まれるように分けます。

構成要素	特徴または構成要素	
文1	洗濯機本体にばねによって支持され軸受を設けた水槽	
水槽	軸受を持っている	
	軸受	洗濯機本体にばねによって支持される
文2	前記軸受に支持される回転軸を有しこの回転軸を中心に水槽内で回転するドラム	
ドラム	回転軸を有する	
	回転軸	軸受に支持される
	回転軸を中心に水槽内で回転する	

上記の方法で請求項を細分化します。

- 動詞「持つ」「有する」について

「持つ」「有する」は特徴ではなく構成要素として扱います。

- 冠詞について

Dr. ノイマンでは、クレーム生成の際、特徴文中で前述された構成要素かを判断して、適宜、冠詞 a, the, saidなどを付与します。したがって、日本語で特徴を追加する際、「該当」、「該」、「前記」などをユーザーが入力する必要はありません。

2.3 特許請求項の入力

特許請求項の入力手順について説明します。

手順

1. Dr. ノイマンを起動します。

次のダイアログが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled '発明情報' (Invention Information). It contains the following fields and controls:

- 発明の名前(I): 新しい発明
- 発明の分野(E): 機械(物)
- 特許形式(E): 米国形式(U) 欧州形式(E)
- 発明補足情報(I): (Empty text area)
- 発明者氏名(I): CL
- 発明者所属(O): (Empty text area)
- その他の情報(O): (Empty text area)
- 作成日時(I): 2005/11/06 23:37:32
- 更新情報(I):

更新者	更新者所属	更新日時
チルレ		2005/11/06 23:37:32

Buttons: OK, キャンセル

2. 「発明の名前」に「ドラム式洗濯機」と入力し、その他の項目はそのままにして OK をクリックします。

次のダイアログが表示されます。



細分化にしたがって構成要素と特徴を入力していきましょう。

3. 「発明」をダブルクリックします。

構成要素ダイアログが表示されます。

4. 「要素名(和文)」に発明の名前を入力します。
ここでは、「ドラム式洗濯機」と入力します。



「要素名（英文）」には、Dr. ノイマンの翻訳結果が表示されます。


「登録要素名（英文）」には、初期状態では、「要素名（英文）」と同じ結果が表示されていますが、テキストボックスに直接英文を入力することもできます。

「登録要素名（英文）」を変更後、元に戻したい場合は、自動翻訳の英語名を使う をクリックしてください。

5. OK をクリックします。

Dr. ノイマンのメイン画面に戻り「構成要素」のトップに「ドラム式洗濯機」と表示されます。

次に構成要素を入力していきましょう。

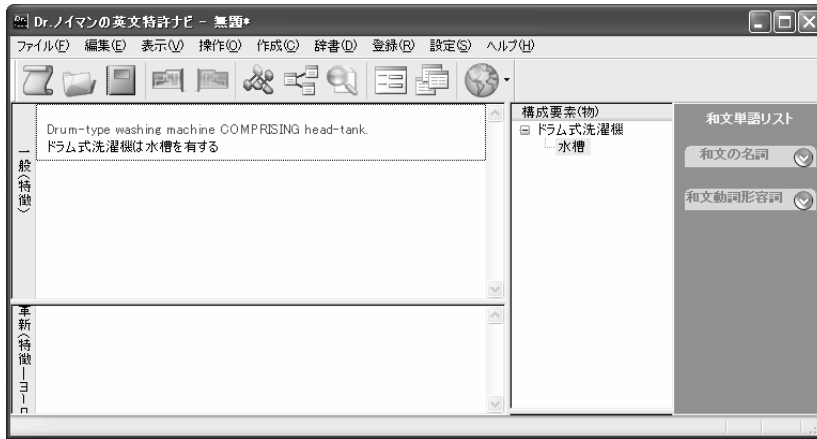
6. ツールバーの 下位要素の追加  をクリックします。

操作ダイアログが表示されます。

『2.2 特許文の細分化』の要素を入力していきます。

7. 「要素名（和文）」に「水槽」と入力して、 OK をクリックします。

次のように表示されます。



「構成要素」に「水槽」が追加され、特徴には、「ドラム式洗濯機は水槽を有する」という特徴文が生成され、この特徴文の翻訳結果が上に表示されます。

文を入力する際、「該当」、「該」、「前記」などを記載する必要はありません。クレーム生成の際、前述されているかを判断して、適宜、a, the saidなどの冠詞が付与されます。

8. 「水槽」を右クリックして表示されるショートカットメニューから「下位要素の追加」をクリックします。

操作ダイアログが表示されます。



「軸受」を選択します。

方法2

「構成要素」にある「軸受」を特徴ダイアログの「主語」にドラッグ&ドロップします。



方法3

テキストボックスにキーボードから直接入力します。

助詞の指定

主語の助詞にある をクリックすると選択可能な助詞が表示されるので、指定します。

14. 「場所」や「手段」も適切に設定して、 **適用** をクリックします。

「特徴文」に生成された文が表示されます。

15. **OK** をクリックします。

メイン画面に戻ると、特徴文が追加されています。



上記の方法を繰り返して、請求項の文を入力します。

2.4 訳語の変更

Dr. ノイマンでは、翻訳結果の訳語を変更することができます。




ヒント

特徴文生成の際にテンプレートから選択した述語に関する訳語変更は、特徴文の変更で行います。

ここでは、「軸受」の訳をbearingからaxle box bearingと訳語変更する手順は以下のとおりです。


手順

1. ツールバーの  をクリックします。
辞書参照ダイアログが表示されます。
2. 「検索語」に「軸受」と入力して、 **検索** をクリックします。
検索結果が表示されます。

見出し語	辞書種別
軸受	専門語辞書[機械(物)]

詳細内容:

日本語名: 軸受
 日本語品詞: 名詞
 日本語活用: 無活用
 英語名: bearing
 分野: 一般
 作成者:
 登録日時: (不明)
 登録属性: 基本語辞書

3. 「辞書種別」で参照する辞書を選択します。
「英語名」の端にある  をクリックして表示されるリストから、訳語を選択します。
たとえば、「辞書種別」では「専門語辞書[機械(物)]」を、「英語名」では「axle box bearing」を選択します。



4. 閉じる をクリックします。

メイン画面に戻ります。

これで、変更する訳語が指定されました。次に、訳語の変更を翻訳に反映済みます。

5. 構成要素にある「軸受」をダブルクリックします。

構成要素ダイアログが表示されます。



「要素名（英文）」には、辞書参照ダイアログで選択した英訳が表示されます。

6. 自動登録の英語名を使う をクリックします。

「登録要素名」が「要素名」の英単語になります。

7. OK をクリックします。

特徴文で使用している「軸受」のすべての訳が「axle box bearing」と変更されます。



2.5 テンプレートの登録

Dr. ノイマンでは、テンプレートを利用して発明の特徴文を作成します。テンプレートには、登録する語句に対して、訳語だけでなく、意味クラス（その単語がどのような意味合いを持つかを表す属性）や前後に続く語句などを登録できます。

ここでは、テンプレートの登録方法について説明します。

例文



前記回転軸に取り付けられ前記水槽の外側に配設されたプーリ

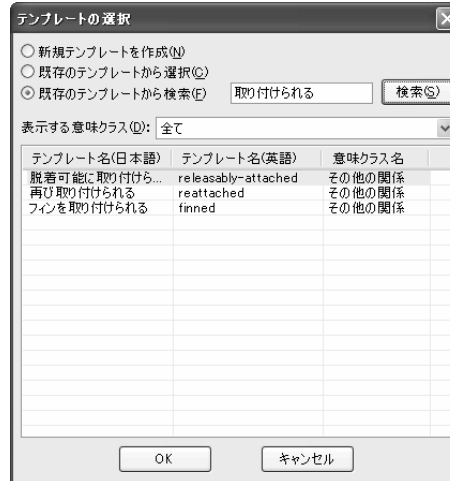
構成要素	特徴または構成要素
プーリ	回転軸に取り付けられる
	水槽の外側に配設される


まず、構成要素を追加します。

- 手順**
- 「ドラム式洗濯機」を右クリックして表示されるショートカットメニューから「下位要素の追加」をクリックします。
操作ダイアログが表示されます。
 - 「要素名（和文）」に「プーリ」と入力して、OK をクリックします。
「構成要素」に「プーリ」が追加され、最上段の特徴文は、「ドラム式洗濯機は水槽と プーリを有する」と表示されます。



3. ツールバーの  特徴の追加 をクリックします。
 テンプレートの選択ダイアログが表示されます。
4. 「取り付けられる」と入力して、  検索 をクリックします。
 検索結果が表示されます。



- 「取り付けられる」は無いのでテンプレートに登録しましょう。
5. 「新規テンプレートを作成」をオンにして、  OK をクリックします。
 テンプレート登録 / 編集 / 削除ダイアログが表示されます。
 「日本語名」には、「取り付けられる」が入力されます。

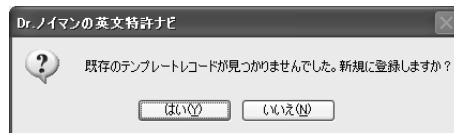


6. 「意味クラス」は、「接続」にして、 検索 をクリックします。



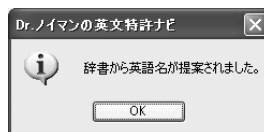
システムテンプレートと同じ「英語名」+「意味クラス」の組み合わせでユーザーテンプレートに登録することはできません。

次のメッセージが表示されます。

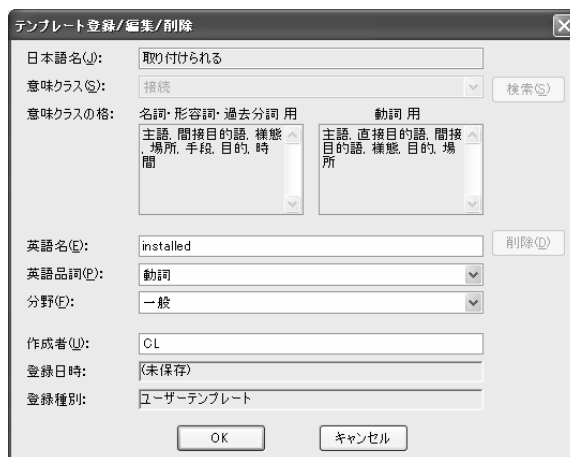


7. はい をクリックします。

基本語辞書に訳語が存在する場合、次のメッセージが表示されます。



8. OK をクリックします。



「英語名」には、基本語辞書から引いた訳が表示されます。

必要に応じて、「英語名」の訳語を修正してください。

基本語辞書に訳語がない場合は、「英語名」に直接、訳語を入力してください。

9. OK をクリックします。新規登録完了のメッセージが表示されるので、OK をクリックします。


これで、テンプレートに登録されました。

特徴ダイアログが表示されます。

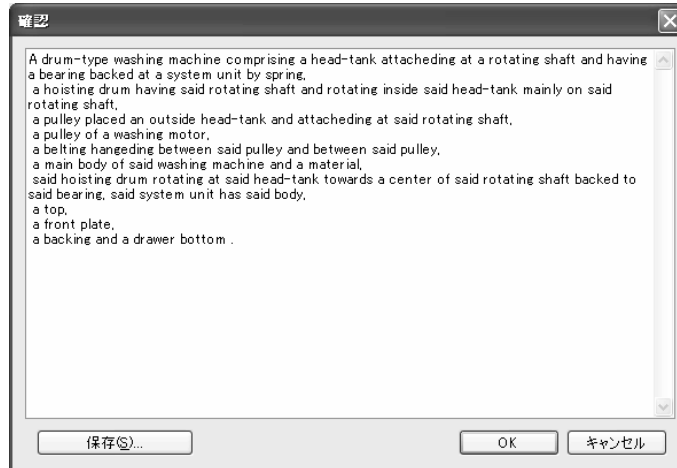
10. 特徴文を入力してください。

2.6 クレーム文の生成

構成要素や特徴の入力が完了したら、クレーム文を生成してみましょう。

ツールバーの クレーム生成  をクリックすると、クレーム文が生成され、

次のように結果が表示されます。



保存 をクリックすると、名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前をつけて保存します。クレーム文はテキスト形式で保存されます。

2.7 ファイルの保存と終了

ファイルを翻訳して、Dr. ノイマンを終了しましょう。

[ファイル] - [名前を付けて保存]を選択すると、名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前を付けて保存してください。

保存したファイルをDr. ノイマンで再度開くと、特許文作成作業を継続できます。

[ファイル] - [アプリケーションの終了]を選択すると、Dr. ノイマンは終了します。

第3章 入門編 -- IT（方法）に関する クレーム文の作成

この章では、Dr. ノイマンを利用して、IT（方法）の発明に関する英語のクレーム文を作成する方法について説明します。

3.1 クレーム文作成の流れ

翻訳対象

特許明細書の【特許請求の範囲】の【請求項1】
従属クレームについてはここでは説明しません。

対象とする発明分野

「IT（方法）」について説明します。
その他の発明分野は対象外とします。請求項において「装置」や「機械」を説明する場合は、『第2章 入門編 -- 機械（物）に関するクレーム文の作成』を参照してください。

英文特許請求項作成の流れ

手順1. 非構成要素を入力する

手順2. ステップを入力する

手順3. 特徴を入力する

手順4. クレーム文を生成する

手順5. ファイルを保存する

手順1-3を繰り返して請求項を作成します。その間、必要に応じてユーザー辞書の登録とテンプレートの登録を行います。

3.2 特許文の細分化

Dr. ノイマンの各項目に入力するためには、請求項をよく理解して、細分化する必要があります。通常、発明者は自身の発明品について熟知しているためこの部分は省くことができますが、出願済みの特許明細書を見ながらDr. ノイマンを利用して英文特許請求項を作成する場合は、この部分が重要になります。次の例文で説明します。

例文

【特許請求の範囲】

【請求項1】 緩衝性水溶液中で高粘度ヒドロカーボンの安定なバイモーダルエマルジョンを製造するための方法において、該製造方法は、

(1) 不活性化している天然の界面活性剤を含有する高粘度ヒドロカーボンを供給するステップと、

(2) 水と、約30ppm以上のアルカリ添加剤と、約4,000ppm以上の量の緩衝性添加剤とを有してなる、pH11以上の緩衝性水溶液を形成するステップと、

● 文の基準：ステップごとに文を分ける

ステップまたは手段ごとに文を細分化します。

ステップ	非構成要素または特徴	
発明の名前	緩衝性水溶液中での安定なバイモーダルエマルジョンの製造方法	
	緩衝性水溶液 安定なバイモーダルエマルジョン	
文1	不活性化している天然の界面活性剤を含有する高粘度ヒドロカーボンを供給するステップ	
高粘度ヒドロカーボンを供給する	高粘度ヒドロカーボン	不活性化している天然界面活性剤を含有する
	高粘度ヒドロカーボン 不活性化している天然界面活性剤	

上記の方法で請求項を細分化します。

● 冠詞について

Dr. ノイマンでは、クレーム生成の際、特徴文中で前述された構成要素かを判断して、適宜、冠詞 a, the, saidなどを付与します。したがって、日本語で特徴を追加する際、「該当」、「該」、「前記」などをユーザーが入力する必要はありません。

3.3 特許請求項の入力

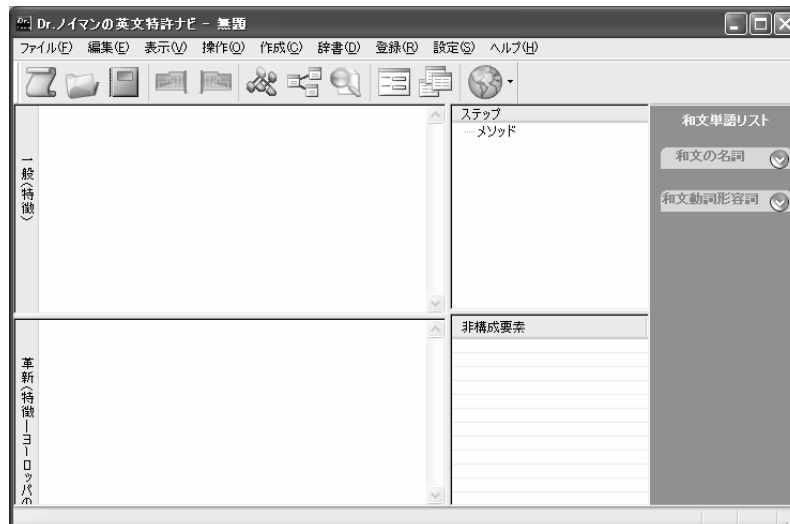
特許請求項の入力手順について説明します。

手順

1. Dr. ノイマンを起動します。
発明情報ダイアログが表示されます。
2. 「発明の名前」に「緩衝性水溶液中での安定なバイモーダルエマルジョンの製造方法」と入力し、「発明の分野」を「IT (方法)」と設定して OK をクリックします。

更新者	更新者所属	更新日時
CL		2005/11/12 23:24:53

3. [表示] - [非構成要素一覧]を選択します。
非構成要素エリアが表示されます。



細分化にしたがって非構成要素と特徴を入力していきましょう。

まず、非構成要素を入力します。

4. 非構成要素エリアを右クリックして表示されるショートカットメニューから「非構成要素の追加」をクリックします。
非構成要素ダイアログが表示されます。
5. 「要素名（和文）」に「緩衝性水溶液」と入力してみましょう。

「要素名」から解析して、システムが「主要要素名」とその他の項目に語句を分類します。

「要素名 (英文)」には、Dr. ノイマンの翻訳結果が表示されます。

「登録要素名 (英文)」には、初期状態では、「要素名 (英文)」と同じ結果が表示されていますが、テキストボックスに直接英文を入力することもできます。

「登録要素名 (英文)」を変更後、元に戻したい場合は、自動翻訳の英語名を使う をクリックしてください。

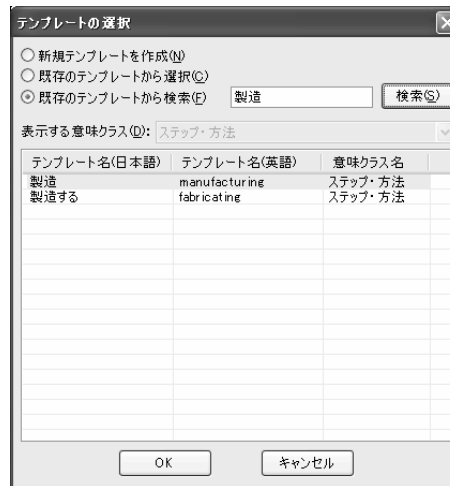
6. OK をクリックします。

非構成要素に「水溶液」が追加されます。



発明の名前を入力しましょう。

7. 同様の手順で非構成要素に「安定なバイモダルエマルジョン」を追加します。
次に、発明の名前を入力しましょう。
8. 「メソッド」をダブルクリックします。
テンプレートの選択ダイアログが表示されます。
9. 「製造」と入力して、 検索 をクリックします。
10. リストにある「製造」を選択して、 OK をクリックします。



ステップダイアログが表示されます。

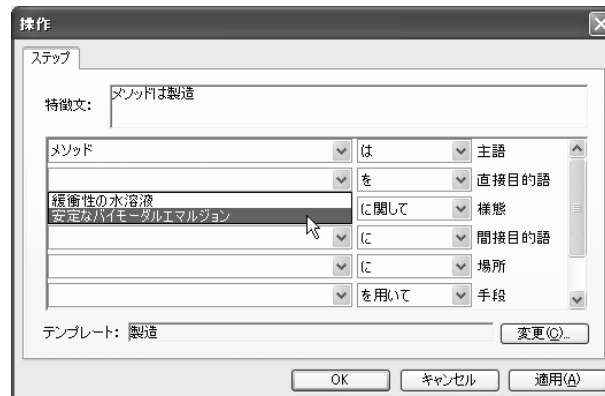
11. 「緩衝性水溶液中での安定なバイモーダルエマルジョンの製造」と入力してみましょう。

要素の入力

要素の入力方法について、「直接目的語」を例にして説明します。

方法1

「直接目的語」にある をクリックすると非構成要素に登録されている要素名が表示されます。



「安定なバイモーダルエマルジョン」を選択します。

方法2

「非構成要素」にある「エマルジョン」を特徴ダイアログの「直接目的語」にドラッグ&ドロップします。

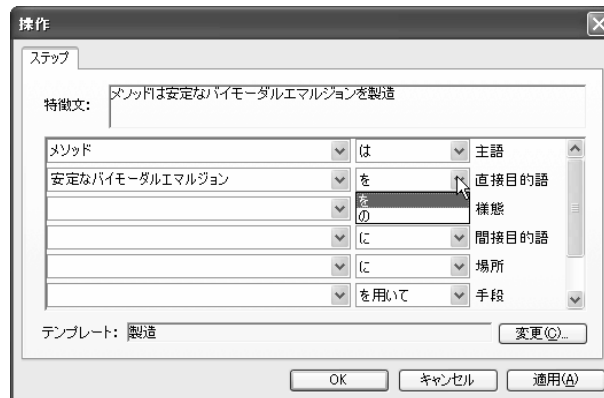


方法3

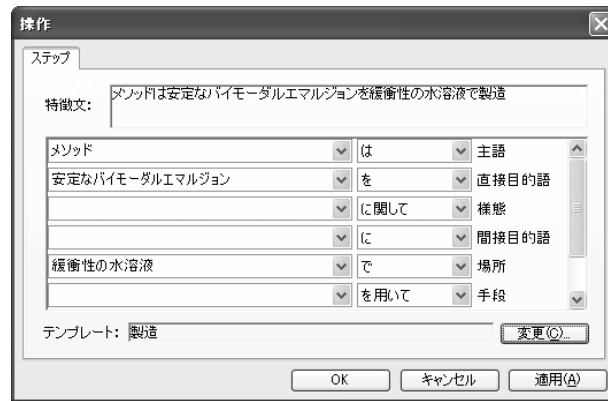
テキストボックスにキーボードから直接入力します。

助詞の指定

直接目的語の助詞にある をクリックすると選択可能な助詞が表示されるので、指定します。



12. 「場所」も適切に設定して、適用 をクリックします。



「特徴文」に生成された文が表示されます。

13. OK をクリックします。

メイン画面に戻り、メソッドが追加されます。



次にステップを追加してみましょう。ここでは、細分化した文Iを使用して説明します。


14. 非構成要素エリアを右クリックして表示されるショートカットメニューから「非構成要素の追加」をクリックします。

非構成要素ダイアログが表示されます。

15. 「要素名 (和文)」に「不活性化している天然の界面活性剤」と入力します。

16. 同様の手順で非構成要素に「高粘度ハイドロカーボン」を追加します。



17. ツールバーの  下位要素の追加 をクリックするか、ステップエリアを右クリックして表示されるショートカットメニューから「下位ステップの追加」をクリックします。

テンプレートの選択ダイアログが表示されます。

『3.2 特許文の細分化』の要素を入力していきます。

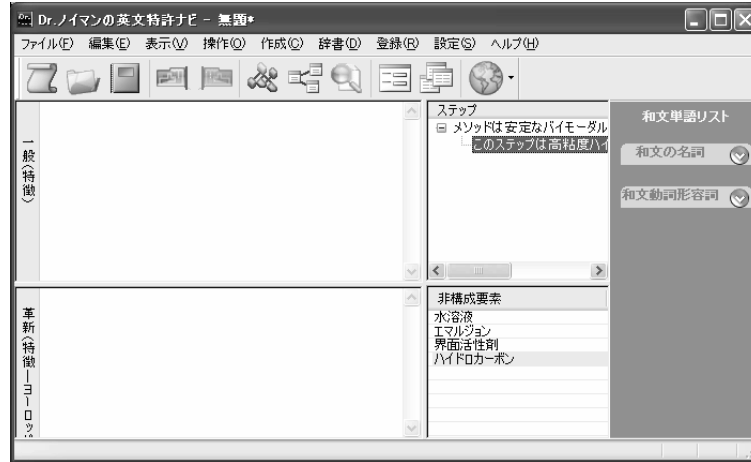
ここでは、ステップとして「不活性化している天然の界面活性剤を含有する高粘度ハイドロカーボンを供給する」と入力しましょう。

18. 「供給」と入力して、 **検索** をクリックします。


テンプレートの検索では、指定した文字列を含む語句が検索結果となります。



19. 「供給する」を選択して、 OK をクリックします。
ステップダイアログが表示されます。
20. 「直接目的語」に「高粘度ヒドロカーボン」を指定して、 OK をクリックします。



次に特徴として「不活性化している天然の界面活性剤を含有する高粘度ヒドロカーボン」と入力します。

21. ツールバーの 特徴の追加  をクリックします。
テンプレートの選択ダイアログが表示されます。
22. 検索キーに「含有する」と入力して、 検索 をクリックします。
検索結果に「含有する」がないので、「含む」を入力して再度検索を実行してください。
23. リストの2番目にある「含む」を選択して、 OK をクリックします。



特徴ダイアログが表示されます。

24. 以下のように入力します。

「主語」に「高粘度ハイドロカーボン」、「直接目的語」に「不活性化している天然界面活性剤」と入力します。

25. OK をクリックします。

メイン画面に戻り、特徴が追加されます。



上記の方法を繰り返して、請求項の文を入力します。

3.4 訳語の変更

Dr. ノイマンでは、翻訳結果の訳語を変更することができます。





ヒント

特徴文生成の際にテンプレートから選択した述語に関する訳語変更は、特徴文の変更で行います。

ここでは、「水溶液」の訳をwater solutionからsolutionと訳語変更する手順は以下のとおりです。


手順

1. ツールバーの  をクリックします。
辞書参照ダイアログが表示されます。
2. 「検索語」に「水溶液」と入力して、  をクリックします。
検索結果が表示されます。

見出し語	辞書種別
水溶液	基本語辞書

詳細内容:

日本語名: 水溶液
 日本語品詞: 名詞
 日本語活用: 無活用
 英語名: water solution
 分野: 一般
 作成者:
 登録日時: (不明)
 登録属性: 基本語辞書

3. 「辞書種別」で参照する辞書を選択します。
「英語名」の端にある  をクリックして表示されるリストから、訳語を選択します。
たとえば、「辞書種別」では「基本語辞書」を、「英語名」では「solution」を選択します。



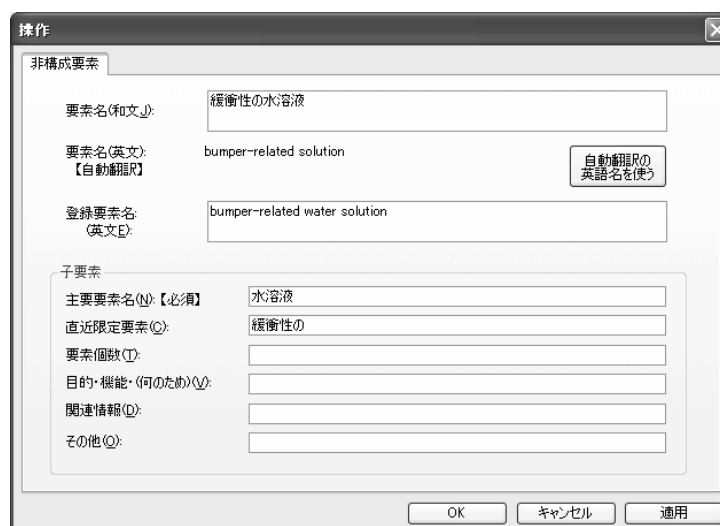
4. 閉じる をクリックします。

メイン画面に戻ります。

これで、変更する訳語が指定されました。次に、訳語の変更を翻訳に反映済みます。

5. 非構成要素にある「水溶液」をダブルクリックします。

非構成要素ダイアログが表示されます。



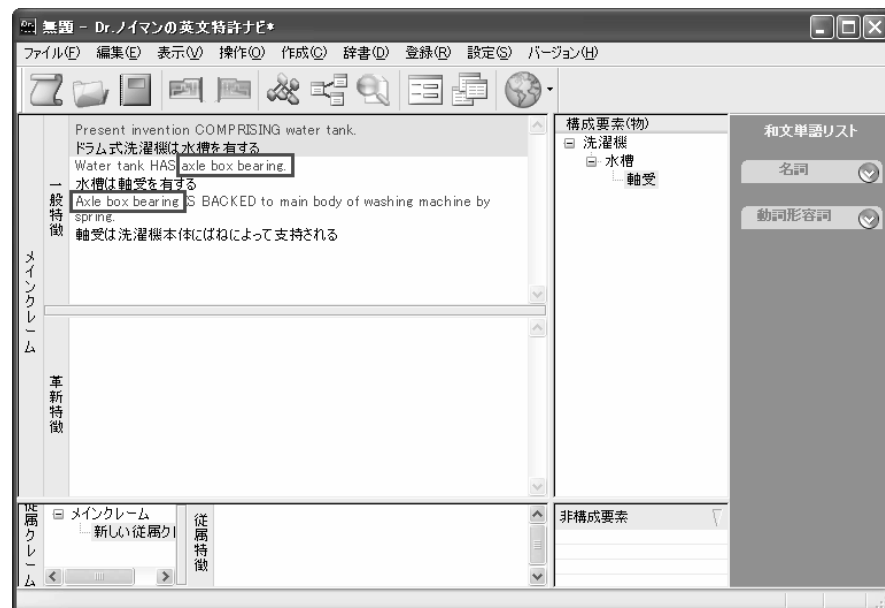
「要素名(英文)」には、辞書参照ダイアログで選択した英訳が表示されます。

6. 自動登録の英語名を使う をクリックします。

「登録要素名」が「要素名（和文）」の英単語になります。

7. OK をクリックします。

特徴文で使用している「水溶液」のすべての訳が「solution」と変更されます。



3.5 テンプレートの登録

Dr. ノイマンでは、テンプレートを利用して発明の特徴文を作成します。テンプレートには、登録する語句に対して、訳語だけでなく、意味クラス（その単語がどのような意味合いを持つかを表す属性）や前後に続く語句などを登録できます。

ここでは、テンプレートの登録方法について説明します。

前述の例で「含有する」の訳がテンプレートに無かったため、「含む」で特徴を追加しました。ここでは、「含有する」の訳をcontainと登録してみましょう。

- 手順**
1. 一般特徴エリアにある「高粘度ヒドロカーボン是不活性化している天然の界面活性剤を含む」をダブルクリックします。

特徴ダイアログが表示されます。

2. **変更** をクリックします。

テンプレートの選択ダイアログが表示されます。

3. 検索キーに「含有する」と入力して、「新規テンプレートを作成」をオンにして、**OK** をクリックします。

テンプレート登録 / 編集 / 削除ダイアログが表示されます。

「日本語名」には、「含有する」が入力されます。

テンプレート登録 / 編集 / 削除

日本語名(J): 含有する

意味クラス(C): その他の関係 [検索(S)]

意味クラスの格: 名詞・形容詞・過去分詞用 動詞用

主語、種態、手段、時間 主語、直接目的語、目的、種態、手段、場所、時間

英語名(E): [削除(D)]

英語品詞(E):

分野(E):

作成者(U):

登録日時:

登録種別:

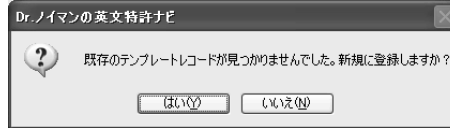
OK キャンセル

4. 「意味クラス」は、「その他の関係」のままにして、 **検索** をクリックします。



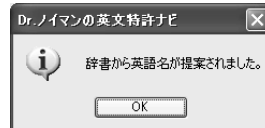
システムテンプレートと同じ「意味クラス」+「英語名」の組み合わせでユーザーテンプレートに登録することはできません。

次のメッセージが表示されます。



5. はい をクリックします。

基本語辞書に訳語が存在する場合、次のメッセージが表示されます。



6. OK をクリックします。

「英語名」には、基本語辞書から引いた訳が表示されます。

必要に応じて、「英語名」の訳語を修正してください。

基本語辞書に訳語がない場合は、「英語名」に直接、訳語を入力してください。

7. OK をクリックします。新規登録完了のメッセージが表示されるので、OK をクリックします。

次のメッセージが表示されます。



このメッセージは、変更前と変更後の語句において、意味クラスの違いにより登録可能な情報が異なる場合に表示されます。

ここでは、「含む」の意味クラス「部分」と「含有する」の意味クラス「その他の関係」における動詞の情報が異なるために表示されました。

8. OK をクリックします。

これで、テンプレートに登録されました。

特徴ダイアログが表示されます。




9. 特徴文を確認して、 OK をクリックします。

メイン画面に戻り、特徴が変更されます。

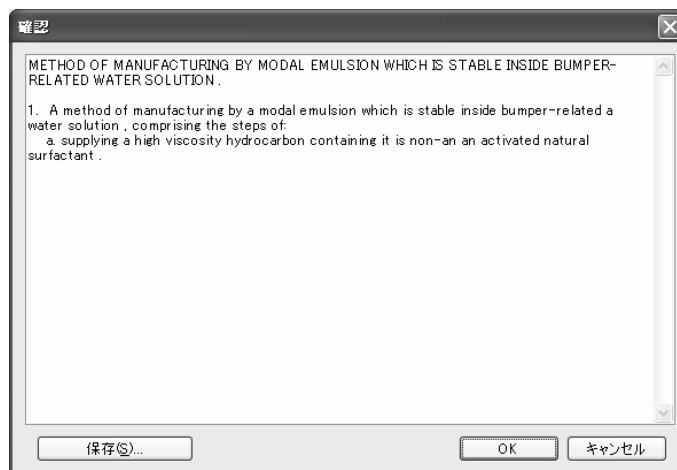


3.6 クレーム文の生成

構成要素や特徴の入力が完了したら、クレーム文を生成してみましょう。

ツールバーの クレーム生成  をクリックすると、クレーム文が生成され、

次のように結果が表示されます。



保存 をクリックすると、名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前をつけて保存します。クレーム文はテキスト形式で保存されます。

3.7 ファイルの保存と終了

ファイルを翻訳して、Dr. ノイマンを終了しましょう。

[ファイル] - [名前を付けて保存]を選択すると、名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前を付けて保存してください。

保存したファイルをDr. ノイマンで再度開くと、特許文作成作業を継続できます。

[ファイル] - [アプリケーションの終了]を選択すると、Dr. ノイマンは終了します。

第4章 入門編 -- 特許明細書を読み込んでクレーム文を作成

この章では、日本語の特許明細書を読み込んでから、英語のクレーム文を作成する方法について説明します。

4.1 クレーム文作成の流れ

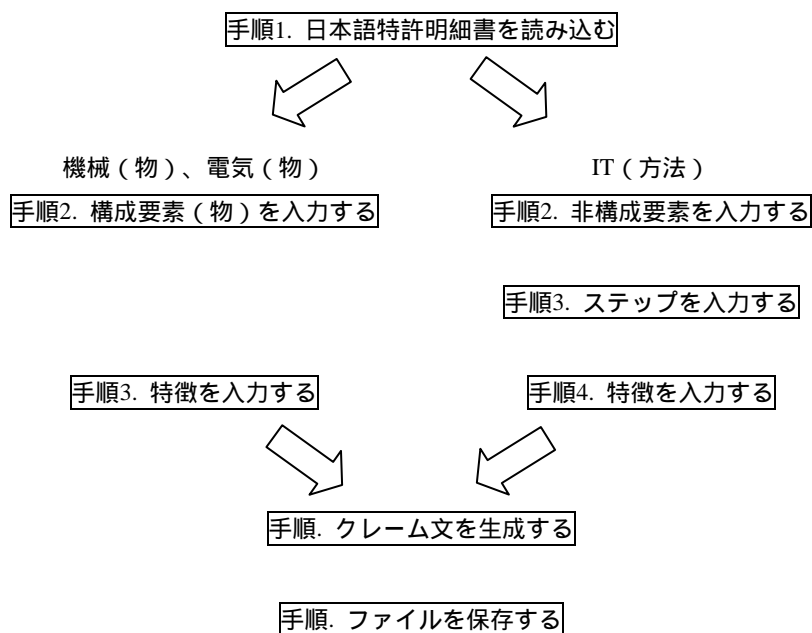
翻訳対象

特許明細書の【特許請求の範囲】の【請求項1】
従属クレームについてはここでは説明しません。

対象とする発明分野

すべての分野に適応できます。

英文特許請求項作成の流れ



請求項の作成の際、必要に応じてユーザー辞書の登録とテンプレートの登録を行います。

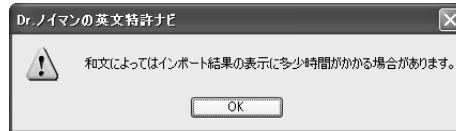
4.2 日本語特許明細書の読み込み

Dr. ノイマンでは、日本語特許明細書を読み込んで、翻訳の実行、書式（【】）ごとの分類、見出し語と語句の使用回数の一覧を作成することができます。

ここでリストされた語句を利用してクレーム文を作成することができます。手順は以下のとおりです。

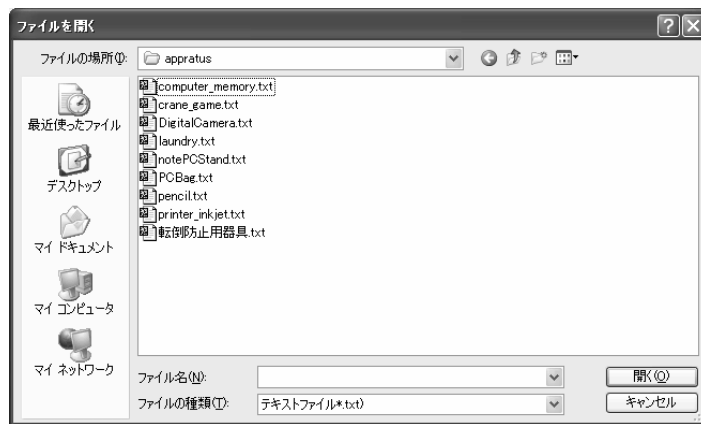
- 手順** 1. [ファイル] - [和文インポート]を選択します。

次のダイアログが表示されます。



2. OK をクリックします。

ファイルを開くダイアログが表示されます。



3. インポートするファイルをダブルクリックして選択します。

インポートが開始されます。インポートが終了すると次のダイアログが表示されます。



書式指定ボックス

【】付き項目が表示されます。

その下には、【】付き項目の英訳が表示されます。

和文インポートの際、文書は【】項目ごとに分類されますが、何らかの理由により分類できなかった文章は、【その他】に含まれます。

和文入力エリア

和文入力エリアには、【】付き項目に対応した特許明細書の内容が表示されます。必要に応じて、キーボードから和文を入力します。

見出し語

和文インポートを実行した場合、文書に含まれる名詞と動詞の一覧とその頻度（使用回数）が表示されます。

翻訳レビュー

翻訳レビュー をクリックすると、ウィンドウが下部に広がり、和文入力エリアの文章の翻訳結果を表示します。

書式指定ボックスの をクリックすると【】付き項目がリスト表示されます。



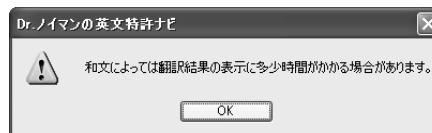
- たとえば、【特許請求の範囲】を選択して 翻訳レビュー をクリックしてみましょう。

次のような翻訳結果が表示されます。

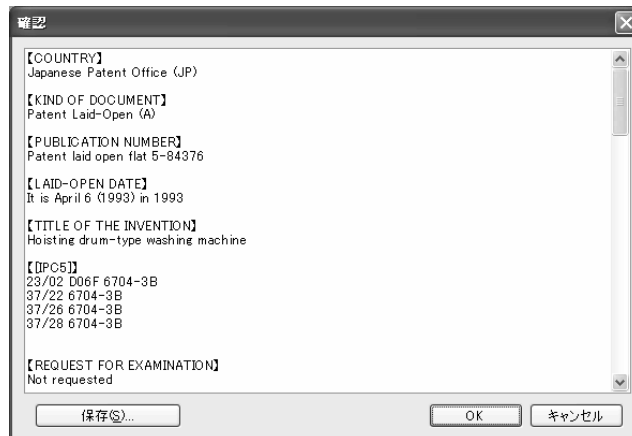


- 一括翻訳の保存

和文インポートで一括翻訳した結果を保存する場合は、英文全明細書翻訳 をクリックします。次のメッセージが表示されます。



OK をクリックすると翻訳結果が表示されます。



保存 をクリックすると名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前を入力して保存します。これで、翻訳結果のファイルがテキスト形式で保存されました。

● インポート結果から要素の追加

説明文の生成ダイアログにある キャンセル をクリックすると、Dr. ノイマンのメイン画面に戻ります。

メイン画面の和文単語リストには、和文インポートで読み込んだ名詞、動詞と形容詞が分類されます。品詞の横にある をクリックすると、一覧が表示されます。



和文単語リストの項目を構成要素エリアや非構成要素エリアにドラッグ&ドロップすると、要素として追加されます。



要素や特徴の追加、クレーム文の生成方法については、『第2章 入門編 -- 機械(物)に関するクレーム文の作成』または、『第3章 入門編 -- IT(方法)に関するクレーム文の作成』を参照してください。

第5章 クレーム文の作成

この章では、クレーム文作成のための構成要素、非構成要素、ステップ、特徴の入力方法について説明します。

5.1 クレーム文作成の前に

5.1.1 各エリアの入力項目

Dr. ノイマンでは、各エリアに必要な情報を日本語で入力することにより英文クレームを生成します。ここでは、各エリアにどのような情報を入力するのが説明します。

The screenshot shows the Dr. Noiman software interface with several annotated areas:

- 一般特徴エリア** (General Feature Area): 米国特許庁に申請する場合、発明に関するすべての特徴を追加します。欧州特許庁に申請する場合は、発明における独創的でない特徴を追加します。
- 構成要素エリア、ステップエリア** (Component/Step Area): 機械または電気の場合、発明品本体を構成する要素を入力します。ITの場合は、ステップを入力します。
- 革新特徴エリア** (Innovative Feature Area): 米国特許庁に申請する場合、このエリアは使用しません。欧州特許庁に申請する場合は、発明における独創ない特徴を追加します。
- 従属クレームのツリー** (Dependent Claim Tree): 従属クレームと先行クレームのツリー構造を示します。
- 従属クレームの特徴エリア** (Dependent Claim Feature Area): 従属クレームにおける特徴を追加します。
- 非構成要素エリア** (Non-component Area): 発明品本体の外にある要素を入力します。たとえば、タッチパネルの場合、使用する「ユーザー」や「電流」は非構成要素となります。

5.1.2 機械（物）、電気（物）の場合

- （非）構成要素

（非）構成要素には、【請求項n】（nは請求項に振られる連番）に含まれるすべての（非）構成要素を入力します。つまり、メインクレームと従属クレームに含まれるすべての（非）構成要素を入力します。

- 一般特徴と革新特徴

メインクレームにおける特徴を入力します。

米国特許庁に申請する場合、発明に関するすべての特徴は「一般特徴」に入力します。欧州特許庁に申請する場合、発明の独創的な特徴の種類（新規的、進歩性）は、「革新特徴」に、独創的でない特徴については、「一般特徴」に入力します。

たとえば、ディスプレイにおいて新しい液晶板を発明した場合、液晶に関する特徴は「革新」となりますが、ディスプレイに搭載される既存のスイッチに関する特徴は「一般」となります。

- 従属クレームのツリー

従属クレームのツリーは、引用する先行クレームとの関係を示します。当該従属クレームを引用する先行クレームの子ノードとして配置します。

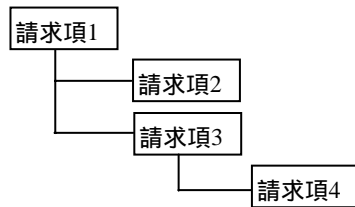
たとえば、以下の構文で説明します。

【請求項1】 電子的に形成された合成立体像と、...
【請求項2】 ...請求項1に記載の立体表示装置...
【請求項3】 ...請求項1に記載の立体表示装置...
【請求項4】 ...請求項3に記載の立体表示装置...
【請求項5】 電子的に形成された合成立体像と、...
【請求項6】 ...請求項5に記載の立体表示装置...

上記の構文は以下のように分類できます。

メインクレーム	請求項1, 5
請求項1の従属クレーム	請求項2, 3
請求項3の従属クレーム	請求項4
請求項5の従属クレーム	請求項6

したがって以下のツリー構造になります。



- 従属クレームの従属特徴エリアエリア

まず、従属クレームの特徴をメインクレームに入力し、これを、従属特徴にDrag & Dropします。これで、従属クレームの特徴が追加され、「従属クレーム」のツリーには、特徴文の原文が追加されます。

5.1.3 IT (方法) の場合

- ステップ

発明におけるメインクレームと従属クレームに含まれるすべての「ステップ」を入力します。従属クレームのステップエリアには、ここからDrag & Dropしてステップを追加していきます。

- 非構成要素

非構成要素には、【請求項n】(nは請求項に振られる連番)に含まれるすべての非構成要素を入力します。

- 一般特徴と革新特徴

クレームにおける特徴を入力します。

米国特許庁に申請する場合、発明に関するすべての特徴は「一般特徴」に入力します。

欧州特許庁に申請する場合、発明の独創的な特徴の種類(新規的、進歩性)は、「革新特徴」に、独創的でない特徴については、「一般特徴」に入力します。

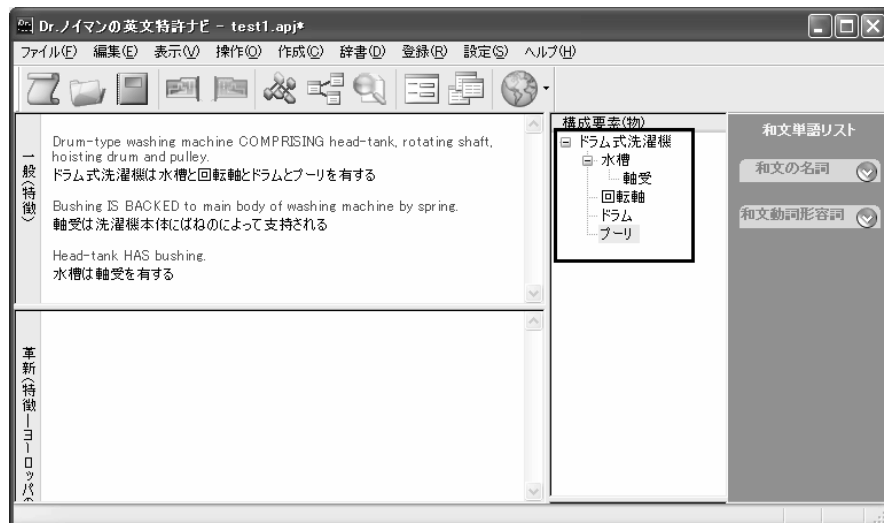
発明の分野がITの場合、ステップの入力だけでクレームを生成でき、したがって「一般特徴」と「革新特徴」への入力が不要な場合もあります。

- 従属クレームのツリー

従属クレームのツリーは、引用する先行クレームとの関係を示します。当該従属クレームを引用する先行クレームの子ノードとして配置します。

5.2 構成要素

構成要素には、発明品本体を構成する物（名詞）を入力します。
 構成要素は、発明の分野が「機械（物）」または「電気（物）」の場合、メイン画面の右側上部「構成要素（物）」エリアに表示されます。



- 動詞「持つ」「有する」について

「持つ」「有する」は特徴ではなく構成要素として扱います。
 「～は...を有する」「～は...を持つ」といった構成要素を記述する際に追加します。

- 冠詞について

Dr. Noimanでは、クレーム生成の際、特徴文中で前述された構成要素かを判断して、適宜、冠詞 a, the, saidなどを付与します。したがって、日本語で特徴を追加する際、「該当」、「該」、「前記」などをユーザーが入力する必要はありません。

- 構成要素

構成要素には、【請求項】に含まれるすべての構成要素を追加します。
 ここで、【請求項】とはメインクレームと従属クレームの両方を指します。

5.2.1 要素の分類

Dr. ノイマンには次の要素があります。

ルート要素

最上段に唯一存在するもので、発明の名称が該当します。
(例：ドラム式洗濯機)

親要素

ルート要素に含まれるもので、子要素または親要素を持つことができます。
(例：水槽、回転軸、ドラム、プーリ)

子要素

親要素に属するものです。(例：軸受)

5.2.2 要素の追加

要素を追加する際には、親となる要素を選択して、その下位要素を指定する必要があります。

● 構成要素の追加方法

前述の例は、次の手順で要素を追加します。

1. 「水槽」は親要素である「ドラム式洗濯機」を右クリックして表示されるショートカットメニューから「下位要素の追加」を選択します。
2. 「軸受」は親要素である「水槽」を右クリックしてから「下位要素の追加」を選択します。
3. 「回転軸」は親要素である「ドラム式洗濯機」を右クリックしてから「下位要素の追加」を選択します。

● 構成要素ダイアログ

構成要素ダイアログでは、発明品を構成する要素を定義します。

要素名 (和文)

発明品の要素を入力します。

入力された要素名をシステムが分析し、下部にある子要素の各項目に振り分けます。

たとえば、「着脱可能なICカード部」を入力すると、次のように振り分けられます。

要素名（英文）

Dr. ノイマンの翻訳結果が表示されます。

登録要素名（英文）

初期状態では、「要素名（英文）」と同じ結果が表示されていますが、テキストボックスに直接英語を入力して変更することができます。

自動翻訳の英語名を使う


「登録要素名（英文）」を変更後、元に戻したい場合にこのボタンをクリックすると、Dr. ノイマンの翻訳結果に戻ります。

子要素

初期状態で子要素の各項目は、Dr. ノイマンが振り分けますが、キーボードからの入力でも編集することもできます。

たとえば、「要素個数」には、数量を表す「約100cc」、「50m以上」などが代入されますが、単位や数値以外の文字列によっては、他の項目に代入される場合があります。このような場合は、カット＆ペーストで、適切な項目に代入しなおしてください。

辞書登録

「要素名（和文）」に入力した語句が未知語の場合、「要素名（和文）」の横に  が表示されます。構成要素ダイアログの 適用 または OK をクリックすると、辞書登録が必要だというメッセージが表示されます。OK をクリックすると辞書登録ダイアログが表示されます。辞書登録については、『6.3.3 ユーザー辞書に単語を登録する』を参照してください。

5.2.3 要素の変更

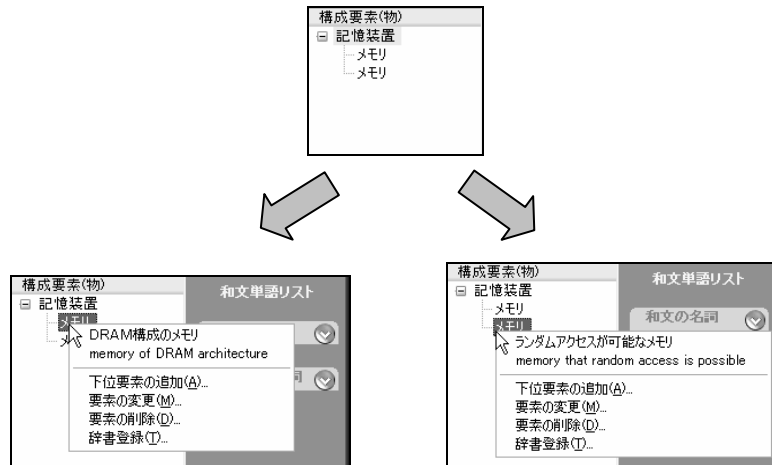
追加した要素の定義を変更する場合は、要素名をダブルクリックするか、右クリックして表示されるショートカットメニューから「要素の変更」を選択します。

選択された要素に対する構成要素ダイアログが表示されるので、適宜、修正します。

5.2.4 要素名の確認

要素名を右クリックすると追加する際に指定した「要素名」とその英訳が表示されます。構成要素エリアには、「主要要素名」のみ表示されるため、区別がつかない場合があります。

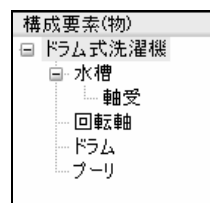
たとえば、「DRAM構成のメモリ」と「ランダムアクセスが可能なメモリ」を追加すると、どちらも「主要要素名」は「メモリ」となるため、構成要素エリアには「メモリ」と表示され、区別が付きません。このよう場合、各要素を右クリックして「要素名」とその英訳を確認することができます。



5.2.5 要素順序の変更

親要素と子要素において、その位置（親子関係）を変更することができます。位置の変更は移動する要素名をドラッグ&ドロップして実行します。

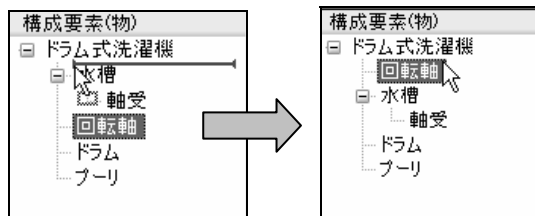
たとえば、次のように構成要素が登録されているとします。



たとえば、「回転軸」を「水槽」の前に移動する場合は、次のように操作します。

手順


1. 「回転軸」を選択します。
2. マウスボタンを押したままドラッグします。赤い直線が表示されるので、移動先でマウスボタンを離してドロップします。



要素の位置が変更されました。



ヒント

誤った位置に移動した場合、ツールバーの  元に戻す をクリックすると、元の位置に戻ります。

特徴文の自動変更

要素位置を変更すると特徴文はそれに対応して自動的に変更され、再翻訳されます。たとえば、前述の例では、次のように変更します。

移動前

ドラム式洗濯機は水槽と回転軸とドラムとプーリを有する

移動後

ドラム式洗濯機は回転軸と水槽とドラムとプーリを有する

5.2.6 要素の削除


必要の無い構成要素を削除することができます。削除する構成要素名を右クリックして、ショートカットメニューの「要素の削除」を選択します。

削除を確認するメッセージが表示されるので、 はい をクリックします。



ヒント

すでに特徴文で使用されている要素は、削除することができません。

誤って削除を実行した場合、ツールバーの  元に戻す をクリックすると、復元されます。

5.2.7 要素名を表示する言語

初期状態で要素名は日本語で表示されています。これを翻訳結果の英語で表示することができます。

[表示] - [要素言語切替] - [要素品名(英語)]を選択すると、選択したコマンドの前にチェックマークが入り、要素名は英語で表示されます。



5.3 特徴

特徴は、特許形式が「米国形式」の場合は、「一般特徴」に追加します。特許形式が、「欧州形式」の場合は、適宜、「一般特徴」と「革新特徴」に追加します。




5.3.1 特徴の追加

- 特徴の追加の注意点

特徴は、ひとつの特徴文にひとつの動詞を含めて追加します。また、特徴文で使用する構成要素または非構成要素については、あらかじめ追加しておく必要があります。

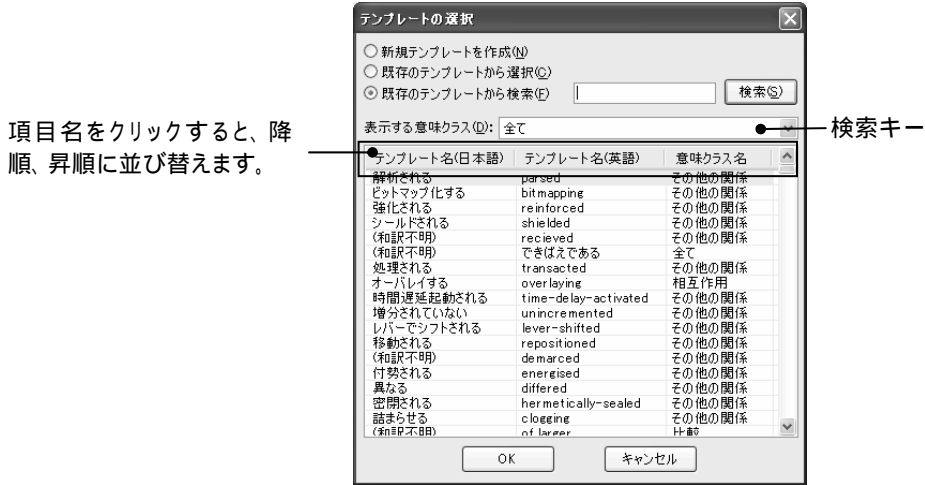
- 特徴の追加方法

特徴の追加には以下の方法があります。

- 特徴を追加するエリア（一般特徴または革新特徴）を右クリックして表示されるショートカットメニューから「特徴の追加」を選択します。
- 特徴を追加するエリアにある任意の文を選択するか、任意の箇所をクリックしてから、ツールバーの 特徴の追加  をクリックします。

● テンプレートの選択ダイアログ

特徴の追加では、まず、テンプレートの選択ダイアログが表示されるので、特徴を表す述語を選択します。



「検索キー」に述語を入力して、 検索 をクリックします。下部リストには、検索結果が表示されます。リスト内の語句を選択して、 OK をクリックすると、特徴ダイアログが表示されます。

検索キー

特徴の追加で使用する述語を検索するためのキーワードを入力します。検索では、キーワードに入力された語句を含む結果を表示します。したがって、検索結果に適切な語句がない場合は、キーワードを短くして、再実行してください。たとえば、「支持する」と入力するより、「支持」とした方が、ヒット率が上がります。検索キーが空の場合、テンプレートの一覧が表示されます。

表示する意味クラス

検索対象とする意味クラスを指定できます。項目の右端にある をクリックすると表示される一覧から、検索対象を選択します。

新規テンプレートを作成

システムが提供するテンプレートに適切な訳が見つからない場合は、ユーザーテンプレートに語句を登録できます。「新規テンプレートを作成」をオンにして、 OK をクリックするとテンプレート登録ダイアログが表示されます。テンプレート登録については、『6.1.3 ユーザーテンプレートの登録』を参照してください。

順序の変更

リストにある各項目名をクリックすると、降順、昇順に順番が入れ替わります。

OK

OK をクリックすると、述語が選択され、特徴ダイアログが表示されます。

● 特徴ダイアログ

特徴ダイアログには、テンプレートの選択で指定した述語が入力されます。



要素の入力方法

要素の入力方法について、「主語」を例にして説明します。

方法1

「主語」にある をクリックすると構成要素に登録されている要素名が表示されるので、クリックして選択します。



方法2

「構成要素」にある要素を特徴ダイアログの「主語」にドラッグ&ドロップします。



方法3

テキストボックスにキーボードから直接入力します。

方法4

和文インポートを実行すると、和文単語リストにインポートしたファイルに含まれる名詞や動詞の一覧と使用回数が表示されます。この単語リストに表示されている語句をドラッグ&ドロップすると、要素が追加されます。和文インポートについては、『5.7.3 和文インポート』を参照してください。

複数要素の指定

各要素を ; (セミコロン) で区切って複数の要素を入力することができます。複数要素をひとつの項目にドラッグ&ドロップすると、次々と ; で区切って要素が追加されます。

助詞の指定

主語の助詞にある をクリックすると選択可能な助詞が表示されるので、指定します。



辞書登録

入力した語句が未知語の場合、特徴ダイアログの 適用 または OK をクリックすると、辞書登録が必要だというメッセージが表示されます。OK をクリックすると辞書登録ダイアログが表示されます。辞書登録については、『6.3.3 ユーザー辞書に単語を登録する』を参照してください。

特徴文の生成

特徴ダイアログの OK をクリックすると、一般特徴または、革新特徴エリアに特徴文が追加され、特徴文の訳文と原文が表示されます。


特徴文の生成の際、テンプレート以外の項目は、基本語辞書、専門語辞書、ユーザー辞書を参照して翻訳されます。

5.3.2 特徴文の位置の変更

エリア内でまたは、他のエリア（一般特徴と革新特徴の間）において任意の文をドラッグ&ドロップすると、順序を変更したり、別エリアに移動したりできます。



ヒント

誤った位置に移動した場合、ツールバーの  元に戻す をクリックすると、元の位置に戻ります。

5.3.3 特徴文の削除


必要の無い構成要素を削除することができます。削除する構成要素名を右クリックして、ショートカットメニューの「特徴の削除」を選択します。

削除を確認するメッセージが表示されるので、はい をクリックします。



ヒント

すでに特徴文で使用されている要素は、削除することができません。

誤って削除を実行した場合、ツールバーの  元に戻す をクリックすると、復元されます。

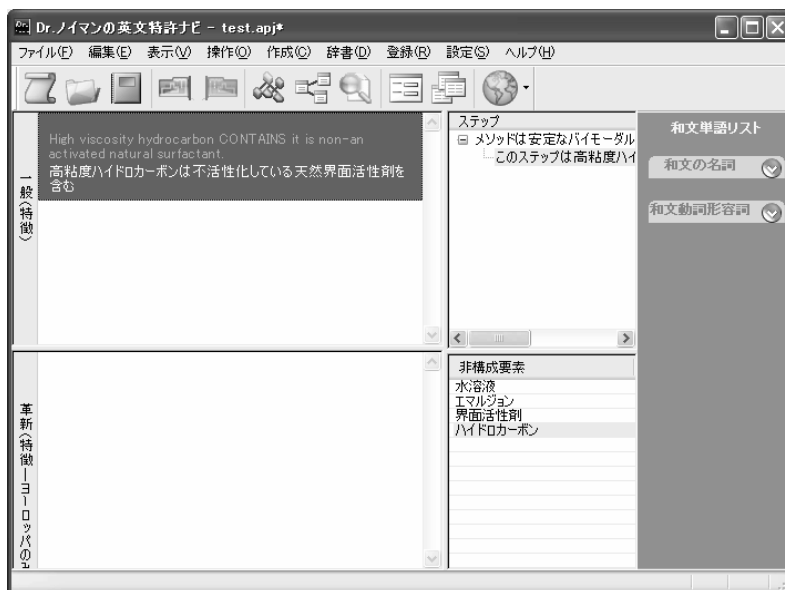
5.3.4 特徴文を表示する言語

初期状態で特徴文は、日本語と翻訳結果の英語で表示されます。これを日本語のみ、英語のみなどで表示することができます。

[表示] - [特徴文言語切替] - [英文のみ]を選択すると、選択したコマンドの前にチェックマークが入り、特徴文は英語で表示されます。

5.4 非構成要素

非構成要素には、発明品本体の外にある物（名詞）を入力します。
 非構成要素は、メイン画面の右側下部「非構成要素」に表示されます。



● 冠詞について

Dr. ノイマンでは、クレーム生成の際、特徴文中で前述された構成要素かを判断して、適宜、冠詞 a, the, saidなどを付与します。したがって、日本語で特徴を追加する際、「該当」、「該」、「前記」などをユーザーが入力する必要はありません。

● 非構成要素

非構成要素には、【請求項】に含まれるすべての非構成要素を追加します。ここで、【請求項】とはメインクレームと従属クレームの両方を指します。

5.4.1 非構成要素の表示

非構成要素エリアが表示されていない場合は、[表示] - [非構成要素一覧]を選択します。非構成要素エリアが表示され、非構成要素一覧コマンドにはチェックマークが付加されます。

5.4.2 非構成要素の追加 / 変更 / 削除

非構成要素ダイアログでは、発明のステップを説明する上で必要となる要素を定義します。

● 非構成要素の追加方法

非構成要素の追加には以下の方法があります。

- 非構成要素エリアを右クリックして表示されるショートカットメニューから「非構成要素の追加」を選択します。
- [操作] - [非構成要素の追加]を選択します。

● 非構成要素に関する操作

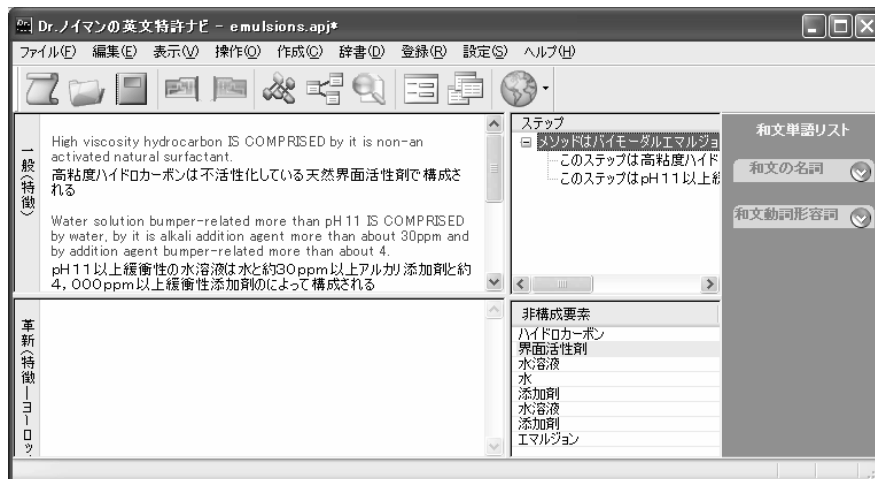
非構成要素に関する変更、削除などの操作は、構成要素の操作と同じです。詳しくは『5.2 構成要素』を参照してください。

● 非構成要素の特徴

非構成要素の特徴は、「特徴の追加」で追加します。詳しくは『5.3 特徴』を参照してください。

5.5 ステップ

ステップの説明文は、発明の分野が「IT(方法)」の場合、メイン画面の右側上部「ステップ」エリアに表示されます。




5.5.1 ステップの追加 / 変更 / 削除

● ステップの追加の注意点

ステップは、ひとつの文にひとつの動詞を含めて追加します。また、ステップで使用する非構成要素については、あらかじめ追加しておく必要があります。

● ステップの追加方法

ステップの追加には以下の方法があります。

- ステップエリアで親ノードとなるステップを右クリックして表示されるショートカットメニューから「下位ステップの追加」を選択します。
- ステップエリアで親ノードとなるステップを選択して、ツールバーの「下位要素の追加」をクリックします。

● ステップの追加手順

ステップの追加手順は、特徴の追加手順と同じです。テンプレートの選択後、ステップダイアログが表示され、ステップを入力します。

詳しくは、『5.3.1 特徴の追加』を参照してください。その際、構成要素を非構成要素に置き換えて、ご参照ください。

● ステップに関する操作

ステップに関する変更、削除などの操作は、構成要素の操作と同じです。詳しくは『5.2 構成要素』を参照してください。

5.6 従属クレーム

ここでは、従属クレームの入力について説明します。

5.6.1 機械、電気の従属クレーム

従属クレームの特徴は、メインクレームに登録した特徴をDrag & Dropして登録します。

たとえば、次の文を入力します。

【請求項2】

前記中間担持体を帯電させる帯電手段をさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載のプリンタ。

各エリアに登録する要素は以下のとおりです。

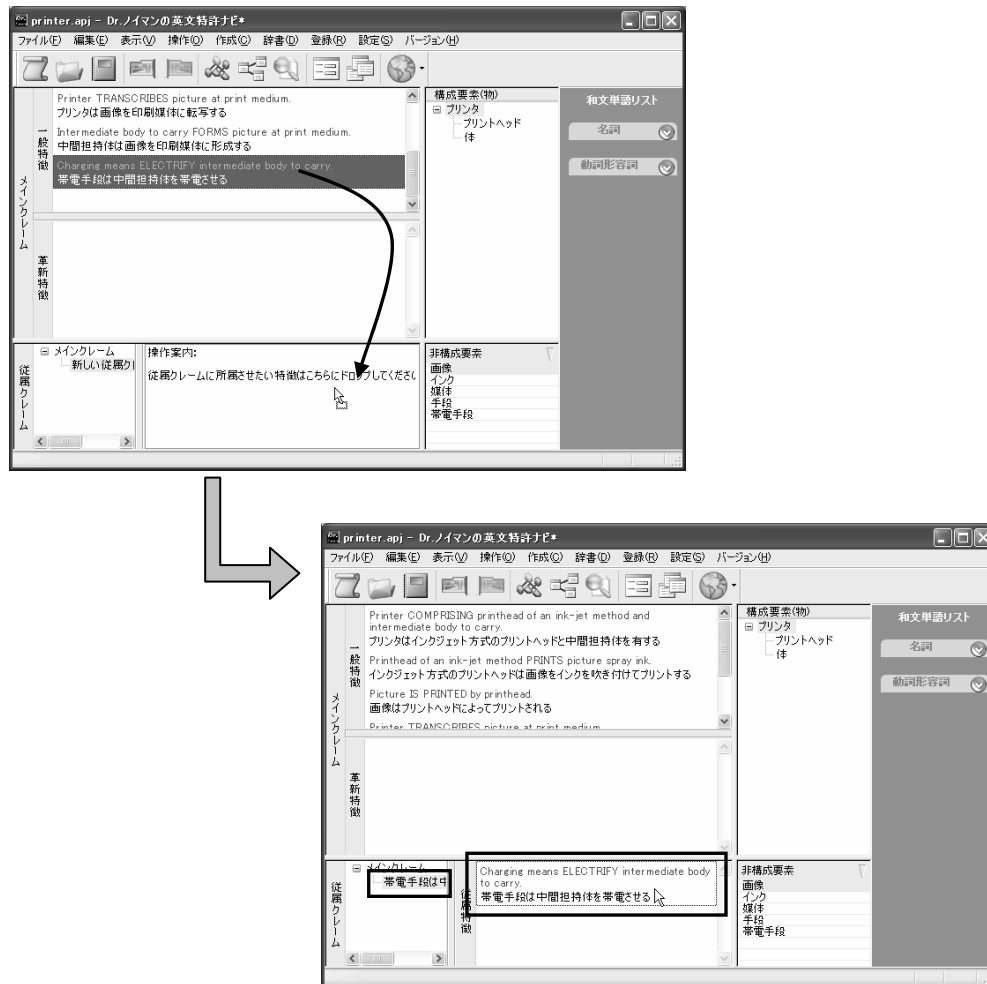
非構成要素	特徴
帯電手段	帯電手段は、中間担持体を帯電させる

- 従属クレームのツリーにクレームの追加

まず、従属クレームのツリーにおいて、右ボタンをクリックして表示される新しい従属クレームの追加を選択します。「メインクレーム」の下に、「新しい従属クレーム」が作成されます。初期状態では、「新しい従属クレーム」に作成されているので、【請求項2】において、上記の作業は必要ありません。

● 従属クレームにおける特徴の追加

メインクレームに登録した【請求項2】の特徴を従属クレームの特徴エリアにDrag & Dropして追加します。



これにより、従属クレームのツリーにも特徴が登録されました。【請求項2】に他の特徴がある場合は、従属クレームの特徴エリアで右クリックして表示されるショートカットメニューから「特徴の追加」をクリックして、特徴文を追加します。

5.6.2 ITの従属クレーム

従属クレームの特徴は、ステップエリアに登録したステップをDrag & Dropして登録します。

たとえば、次の文を入力します。

【請求項1】

装置にGAL連絡先のリストを取り込む方法であって、ユーザーの個人連絡先と重複しない前記ユーザーのグローバルアドレスリスト（GAL）連絡先を自動的に選択するステップと、前記GAL連絡先を作成するステップと、前記GAL連絡先を装置に提供するステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記グローバルGAL連絡先を自動的に選択するステップはさらに、前記ユーザーの電子メールから前記GAL連絡先を取得するステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

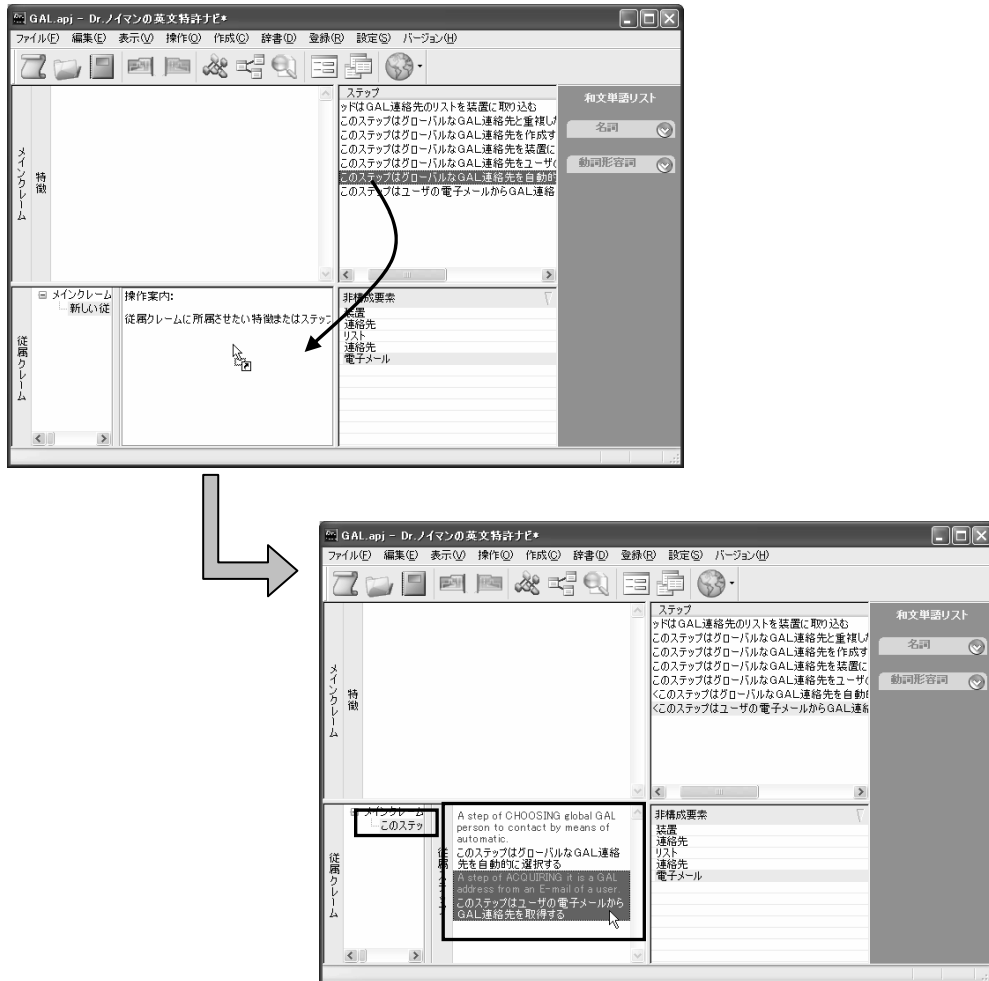
各エリアに登録する要素は以下のとおりです。

非構成要素	ステップ
GAL連絡先	ユーザーの電子メールからGAL連絡先を取得する
ユーザー個人の連絡先	

請求項2にある「前記グローバルGAL連絡先を自動的に選択するステップ」は、すでに請求項1にあるステップとして追加されているため、ここでは、登録する必要はありません。

● 従属クレームにおける特徴の追加

ITのクレームでは、すべてのステップはステップエリアに追加します。従属クレームのステップは、ステップエリアに登録した【請求項2】の特徴を従属クレームの特徴エリアにDrag & Dropして追加します。



ステップエリアにある下部2つを各々、従属クレームエリアにDrag & Dropします。これにより、従属クレームのツリーにも特徴が登録されました。また、ステップエリアにおいて、従属クレームに追加されたステップ文には <> がつきます。

5.6.3 従属クレームの追加 / 変更 / 削除

従属クレームのツリーにおいて、順序の変更、削除、追加などの操作は、構成要素エリアにおける要素の操作と同じです。詳細については、『5.2 構成要素』を参照してください。


5.7 クレーム文の生成

ここでは、クレーム文の生成方法について説明します。
クレーム文の生成には、以下の方法があります。

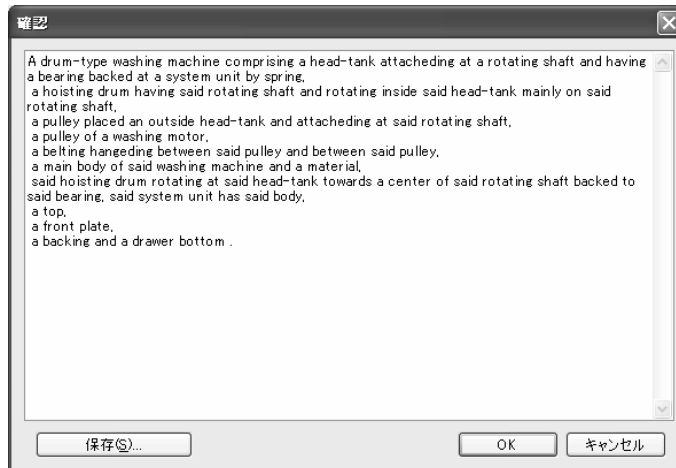
- 追加した特徴から生成する
- 日本語の特許明細書を読み込んでクレーム文を生成する
- 説明文を入力してクレーム文を生成する

5.7.1 クレーム文生成

特徴からクレーム文を生成する手順は以下のとおりです。

- 手順**▶ 1. ツールバーの クレーム生成  をクリックするか、[作成] - [クレーム文] を選択します。

クレーム文が生成され、表示されます。



2. 生成結果を保存する場合は、 保存 をクリックします。
名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前をつけて保存します。
3. 保存する必要がない場合は、 OK または キャンセル をクリックします。

5.7.2 クレーム文生成の処理

Dr. ノイマンでは、クレーム文生成の際、以下の処理が実行されます。

● 冠詞について

Dr. ノイマンでは、クレーム生成の際、特徴文中で前述された構成要素かを判断して、適宜、冠詞 a, the, saidなどを付与します。したがって、日本語で特徴を追加する際、「該当」、「該」、「前記」などをユーザーが入力する必要はありません。

● 従属クレームにおける引用

従属クレームの生成の際、従属クレームのツリー構造にしたがって、当該従属クレームの親要素を先行クレームとして引用します。

5.7.3 和文インポート

Dr. ノイマンでは、日本語特許明細書を読み込んで、翻訳の実行、書式（【】）ごとの分類、見出し語と語句の使用回数の一覧を作成することができます。
手順は以下のとおりです。

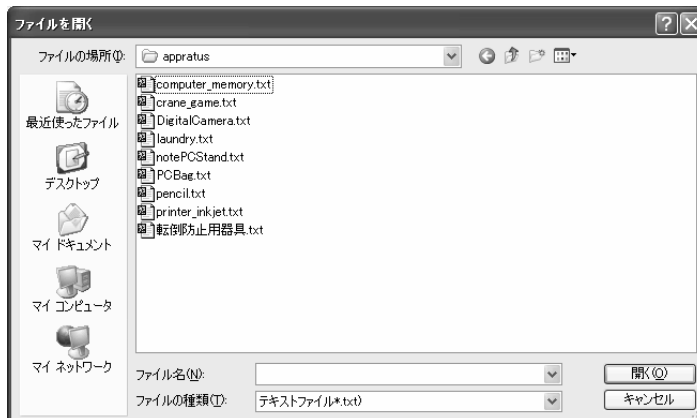
- 手順** 1. [ファイル] - [和文インポート]を選択します。

次のダイアログが表示されます。



2. OK をクリックします。

ファイルを開くダイアログが表示されます。



3. インポートするファイルをダブルクリックして選択します。

インポートが開始されます。インポートが終了すると次のダイアログが表示されます。



書式指定ボックス

【】付き項目が表示されます。

その下には、【】付き項目の英訳が表示されます。

和文インポートの際、文書は【】項目ごとに分類されますが、何らかの理由により分類できなかった文章は、【その他】に含まれます。

和文入力エリア

和文入力エリアには、【】付き項目に対応した特許明細書の内容が表示されます。必要に応じて、キーボードから和文を入力します。

見出し語

和文インポートを実行した場合、文書に含まれる名詞と動詞の一覧とその頻度（使用回数）が表示されます。

翻訳レビュー

翻訳レビュー をクリックすると、ウィンドウが下部に広がり、和文入力エリアの文章の翻訳結果を表示します。

書式指定ボックス

【】付き項目が表示されます。

その下には、【】付き項目の英訳が表示されます。

和文インポートの際、文書は【】項目ごとに分類されますが、何らかの理由により分類できなかった文章は、【その他】に含まれます。

和文入力エリア

和文入力エリアには、【】付き項目に対応した特許明細書の内容が表示されます。必要に応じて、キーボードから和文を入力します。

見出し語

和文インポートを実行した場合、文書に含まれる名詞と動詞の一覧とその頻度（使用回数）が表示されます。

翻訳レビュー

翻訳レビュー をクリックすると、ウィンドウが下部に広がり、和文入力エリアの文章の翻訳結果を表示します。

書式指定ボックスの をクリックすると【】付き項目がリスト表示されます。

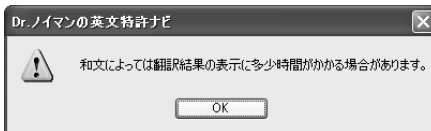


- たとえば、【特許請求の範囲】を選択して **翻訳レビュー** をクリックしてみましょう。

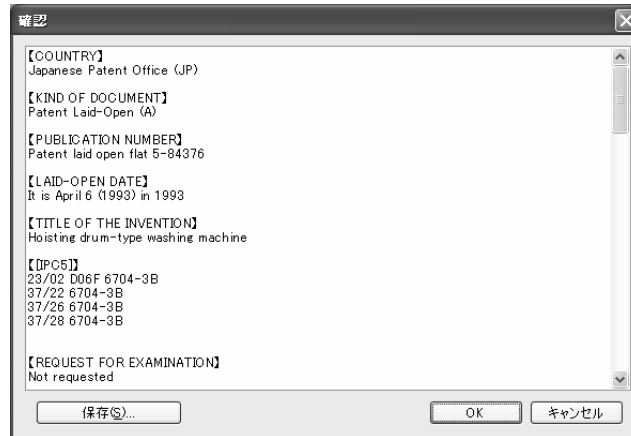
ウィンドウ下部に翻訳結果が表示されます。



- 翻訳結果を保存する場合は、 **英文全明細書翻訳** をクリックします。
次のメッセージが表示されます。



- OK をクリックします。
翻訳結果が表示されます。




7. 保存 をクリックすると名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前を入力して保存します。

これで、翻訳結果のファイルがテキスト形式で保存されました。

5.7.4 説明文の作成

原文をキーボードから入力して、【特許請求項】以外の文章の翻訳を実行することができます。

手順は以下のとおりです。

- 手順 1. ツールバーの クレーム文以外  をクリックするか、[作成] - [クレーム文以外]を選択します。

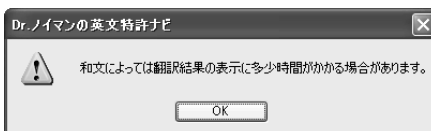
次のダイアログが表示されます。



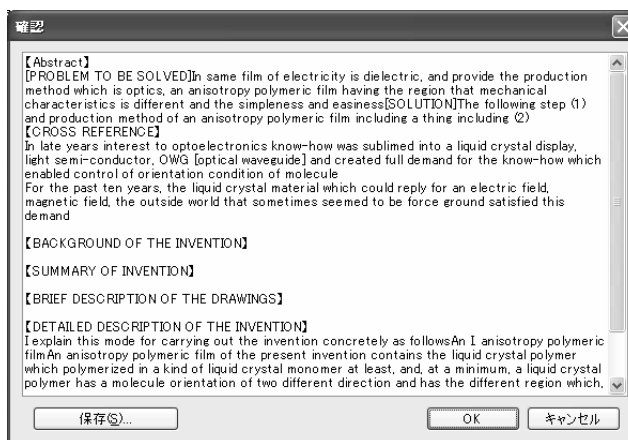
2. 「書式指定ボックス」で項目を選択し、「和文入力エリア」にその内容を入力します。
3. 翻訳レビュー をクリックしてダイアログを下部に広げて、段落翻訳 をクリックすると、翻訳が実行されます。



4. 必要に応じて手順2と3を繰り返して、文章を入力して翻訳します。
各項目の翻訳結果を確認せずに、原文のみ入力して、一括で全項目を翻訳することもできます。この場合は、手順2を繰り返し実行して、手順5に進みます。
5. 各項目の文章の入力が終了したら、 **英文全明細書翻訳** をクリックします。
次のメッセージが表示されます。



6. **OK** をクリックします。
翻訳結果が表示されます。



7. **保存** をクリックすると名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前を入力して保存します。
これで、翻訳結果のファイルがテキスト形式で保存されました。

- 説明文の作成ダイアログの説明

書式指定ボックス

入力可能な項目が表示されます。

その下には、当該項目の英訳が表示されます。

書式指定ボックスの をクリックすると特許明細書において【】付きとなる項目がリスト表示されます。



和文入力エリア

書式指定ボックスの項目に対応した特許明細書の内容を入力します。

翻訳レビュー

翻訳レビュー をクリックすると、ウィンドウが下部に広がり、和文インポートを実行した場合は、和文入力エリアの文章の翻訳結果を表示します。

説明文の作成を実行している場合は、段落翻訳 をクリックして翻訳を実行すると、結果が表示されます。

段落翻訳

和文入力エリアの文章を翻訳します。

和文インポート

日本語の特許明細書を読み込んで一括翻訳します。詳しくは、『5.7.3 和文インポート』を参照してください。

和文保存

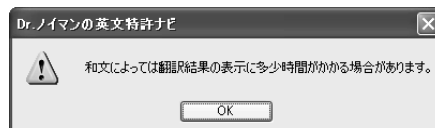
書式指定ボックスに対応して入力した和文入力エリアのすべての文章を保存します。確認ダイアログが表示されるので、保存 をクリックして、適切な名前を入力して保存できます。

見出し語 / 回数

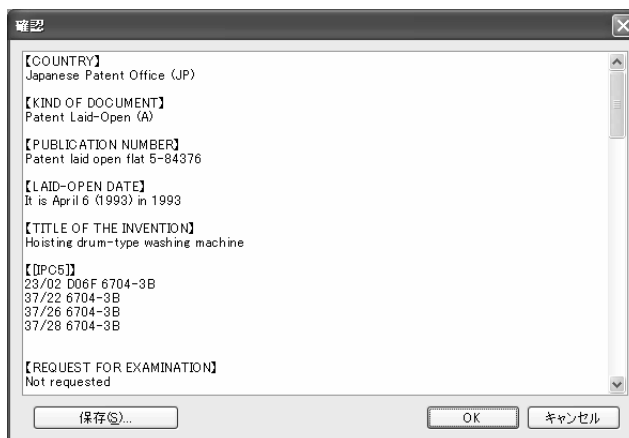
和文インポートを実行した場合、文書に含まれる名詞と動詞の一覧とその頻度（使用回数）が表示されます。

英文全明細翻訳

書式指定ボックスに対応して入力した和文入力エリアのすべての文章を翻訳します。次のメッセージが表示されます。



OK をクリックすると翻訳結果が表示されます。



保存 をクリックすると名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、適切な名前を入力して保存します。これで、翻訳結果のファイルがテキスト形式で保存されました。

5.8 プロパティ

クレーム文に付属する情報を表示または編集できます。

手順 1. [ファイル] - [プロパティ]を選択します。

発明情報ダイアログが表示されます。



2. 「発明の名称」や「特許形式」などを適切に設定して、OK をクリックします。「発明の分野」はクレーム文作成のはじめに指定することができますが、途中で変更することはできません。

第6章 テンプレートと辞書

この章では、テンプレートと辞書の活用方法について説明します。
ユーザーテンプレートとユーザー辞書の作成方法についても説明します。

6.1 テンプレートの選択と登録

ここでは、クレーム文作成で重要な要素となるテンプレートの検索方法と、ユーザーテンプレートの構築方法について説明します。

6.1.1 テンプレートとは

テンプレートには、特徴文で使用する述語が登録されています。また、その語句に係る格要素の情報（主語、場所、目的など）と語句の分類情報（意味クラス）も含まれています。

● 意味クラスと格要素の一覧

意味クラス	動詞の要素	名詞・形容詞・過去分詞の要素
部分	主語:直接目的語:場所:目的	主語:直接目的語:場所:目的
特徴・性質		主語:様態:目的
場所・空間	主語:直接目的語:場所:様態:目的:間接目的語:時間	主語:場所:様態:手段:目的:時間
接続	主語:直接目的語:間接目的語:様態:目的:場所	主語:間接目的語:様態:場所:手段:目的:時間
相互作用	主語:直接目的語:目的:様態:場所	主語:間接目的語:様態:場所:手段:目的:時間:条件
比較	主語:間接目的語:様態:パラメータ:目的	主語:間接目的語:様態:パラメータ:目的
移動・運動	主語:方向:直接目的語:様態:目的:手段:出所・源泉	主語:出所・源泉:様態:方向:手段:目的:時間:条件
制限	主語:直接目的語:様態:場所:目的	主語:手段:様態:場所:目的
分離	主語:間接目的語:直接目的語:目的:様態	主語:間接目的語:様態:目的
目的	主語:直接目的語:目的:場所:様態:手段:間接目的語	主語:目的:様態:場所:パラメータ
構成	主語:直接目的語:場所:様態:目的:間接目的語	主語:場所:様態:手段:目的:時間
原因	主語:直接目的語:様態:手段:目的	主語:手段:様態:場所:目的:時間
描写・表現	主語:直接目的語:目的:様態:手段:場所:条件	主語:場所:様態:手段:目的:時間
ステップ・方法	主語:直接目的語:場所:様態:目的:間接目的語:時間	
その他の関係	主語:直接目的語:目的:様態:手段:場所:時間	主語:様態:手段:時間

6.1.2 テンプレートの選択

特徴または、ステップを追加する際、テンプレートから述語を選択します。「特徴の追加」または、「下位ステップの追加」をクリックすると、テンプレートの選択ダイアログが表示されます。



「検索キー」に述語を入力して、検索 をクリックします。下部リストには、検索結果が表示されます。リスト内の語句を選択して、OK をクリックすると、特徴ダイアログが表示されます。

検索キー

特徴の追加で使用する述語を検索するためのキーワードを入力します。検索では、キーワードに入力された語句を含む結果を表示します。したがって、検索結果に適切な語句がない場合は、キーワードを短くして、再実行してください。たとえば、「支持する」と入力するより、「支持」とした方が、ヒット率が上がります。

検索キーが空の場合、テンプレートの一覧が表示されます。

表示する意味クラス

検索対象とする意味クラスを指定できます。項目の右端にある をクリックすると表示される一覧から、検索対象を選択します。

発明の分野が「IT (方法)」で「下位ステップの追加」の場合は、表示する意味クラスが「ステップ・方法」のみになります。



新規テンプレートを作成

システムが提供するテンプレートに適切な訳が見つからない場合は、ユーザーテンプレートに語句を登録できます。「新規テンプレートを作成」をオンにして、OK をクリックするとテンプレート登録ダイアログが表示されます。テンプレート登録については、『6.1.3 ユーザーテンプレートの登録』を参照してください。

順序の変更

リストにある各項目名をクリックすると、降順、昇順に順番が入れ替わります。

OK

OK をクリックすると、述語が選択され、特徴（ステップ）ダイアログが表示されます。

6.1.3 ユーザーテンプレートの登録

テンプレートの選択で適切な英訳が見つからない場合、ユーザーテンプレートに英訳を登録できます。

手順は以下のとおりです。

- 手順**▶ 1. テンプレートの選択ダイアログで、「新規テンプレートを作成」をオンにして、OK をクリックします。



テンプレート登録ダイアログが表示されます。

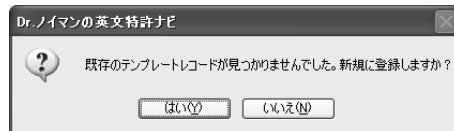


2. 「日本語名」を適切に入力します。「検索キー」にあらかじめ語句を入力しておくと「日本語名」に代入されます。
3. 「意味クラス」を適切に選択して、検索 をクリックします。



システムテンプレートと同じ「英語名」+「意味クラス」の組み合わせでユーザーテンプレートに登録することはできません。

次のメッセージが表示されます。



4. はい をクリックします。

基本語辞書に訳語が存在する場合、次のメッセージが表示されます。



5. OK をクリックします。



基本語辞書に訳語が存在する場合、「英語名」に基本語辞書から引いた訳が表示されます。必要に応じて、「英語名」の訳語を修正してください。

基本語辞書に訳語がない場合は、「英語名」に直接、訳語を入力してください。

6. 「英語品詞」で品詞を選択します。

「～される」といった受動態の形式 (be + pp) の場合は、「形容詞・過去分詞」を選択します。

7. OK をクリックします。新規登録完了のメッセージが表示されるので、OK をクリックします。
これで、テンプレートに登録されました。

6.2 辞書の参照

Dr. ノイマンでは、基本語辞書のほかに専門語辞書とユーザー辞書を使用して翻訳ができます。

ここでは、翻訳に使用する辞書の設定方法、ユーザー辞書の構築方法などを説明します。

6.2.1 辞書の構成

Dr. ノイマンでは、次の辞書を使用できます。

基本語辞書	翻訳の標準となる辞書
ユーザー辞書	ユーザー自身が必要に応じて作成する辞書 必要に応じて単語とその意味を登録します。
専門語辞書	発明の分野別に専門用語を収録 機械（物）、IT（方法）、電気（物）があります。

- 基本語辞書

基本語辞書はテンプレートから選択した語句以外の要素の翻訳に使用されます。この辞書に対する単語の追加や削除はできません。

- ユーザー辞書（登録用）

ユーザー辞書は、基本語辞書や専門語辞書には登録されていない単語や、登録されてはいるものの、希望する訳語が入っていない単語を登録する場合に利用します。ユーザー辞書をうまく使うことにより、訳文をかなり改善することができます。分野によって様々な用語や表現が使われますから、翻訳システムの実用的な運用にはユーザー辞書の構築がとても重要です。

● 参照用ユーザー辞書

Dr. ノイマンでは、登録用のユーザー辞書以外に、参照用のユーザー辞書を使用することができます。たとえば、グループで翻訳作業を行う場合、専門用語を登録した共通辞書を作成し、これを参照用として使用することにより、用語の統一を行えるようになります。

● 専門語辞書

専門語辞書は、発明の分野別に専門用語を収録した辞書で、基本語辞書と同様にテンプレートから選択した語句以外の要素の翻訳時に必ず使用されます。専門語辞書は、クレーム文作成開始時、「発明の分野」を選択した際に自動的に設定されます。この辞書に対する単語の追加や削除はできません。

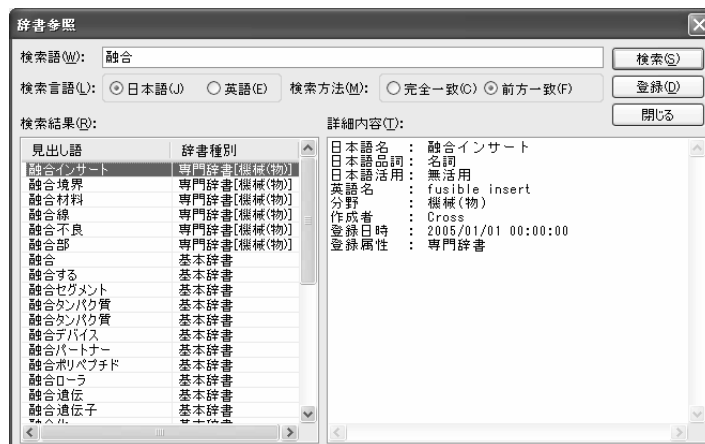
● 辞書の優先順位

翻訳の際には、以下の順序で訳語が出典されます。

1. ユーザー辞書
2. 参照用ユーザー辞書
3. 専門語辞書
4. 基本語辞書

6.2.2 辞書の参照

辞書参照は、基本語辞書、専門語辞書、ユーザー辞書に登録されている単語の意味や品詞などを表示する機能です。[辞書] - [辞書参照]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



● 辞書参照ダイアログ

検索語

辞書引きする語句を入力します。

検索言語

「検索語」に入力した語句の言語を指定します。

検索方法

「完全一致」がオンの場合、「検索語」に入力した文字列と完全に一致する語句を検索します。

「前方一致」の場合、「検索語」に入力した文字列で始まる語句を検索します。

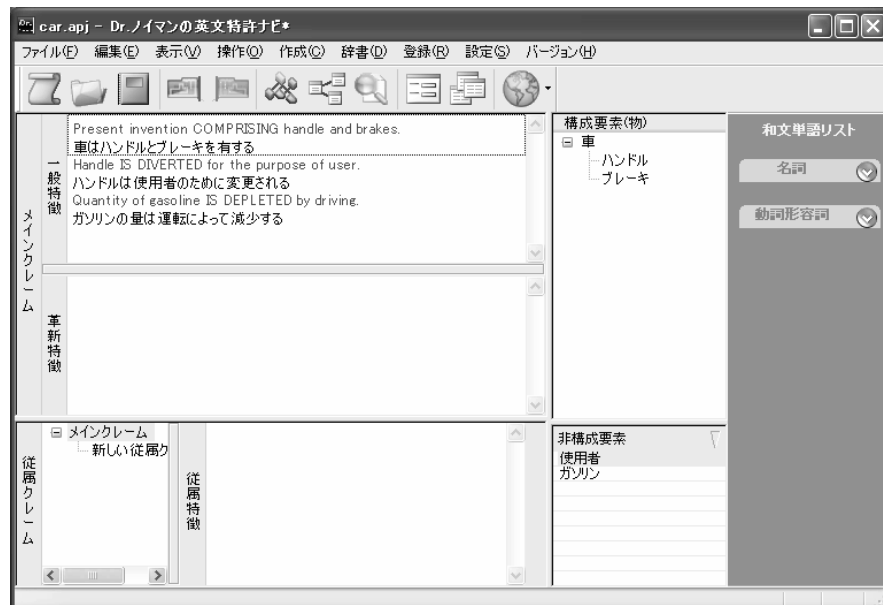
登録

辞書登録ダイアログが表示され、ユーザー辞書に語句を登録できます。

6.2.3 訳語の変更

訳語変更は、（非）構成要素の訳語を変更することにより、特徴文における当該要素の訳語も変更されます。



たとえば、以下のように構成されたクレームで説明します。

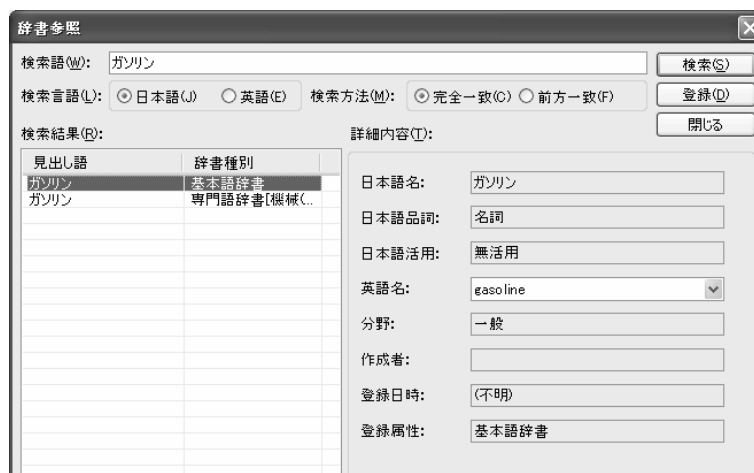



発明の名称	車
1つ目の下位構成要素	ハンドル
2つ目の下位構成の要素	ブレーキ
1つ目の非構成要素	使用者
2つ目の非構成要素	ガソリン
1つ目の特徴	車はハンドルとブレーキを有する (構成要素から自動生成)
2つ目の特徴	ハンドルは使用者のために変更される
3つ目の特徴	ガソリンの量は運転によって減少する

ここでは、「ガソリン」の訳をgasolneからgasと訳語変更する手順は以下のとおりです。

手順

1. ツールバーの  辞書参照 をクリックします。
辞書参照ダイアログが表示されます。
2. 「検索語」に「ガソリン」と入力して、  検索 をクリックします。
検索結果が表示されます。



3. 「辞書種別」で参照する辞書を選択します。
「英語名」の端にある  をクリックして表示されるリストから、訳語を選択します。
たとえば、「辞書種別」では「基本語辞書」を、「英語名」では「gas」を選択します。

辞書参照

検索語(英): ガソリン [検索(S)]

検索言語(L): 日本語(J) 英語(E) 検索方法(M): 完全一致(C) 前方一致(F) [登録(D)]

検索結果(R): 詳細内容(I):

見出し語	辞書種別
ガソリン	基本語辞書
ガソリン	専門語辞書[機械...]

日本語名: ガソリン

日本語品詞: 名詞

日本語活用: 無活用

英語名: gasoline

分野: gasoline, gas

作成者:

登録日時: (不明)

登録属性: 基本語辞書

[閉じる]

4. 閉じる をクリックします。

メイン画面に戻ります。

これで、変更する訳語が指定されました。次に、訳語の変更を翻訳に反映済みます。

5. 構成要素にある「ガソリン」をダブルクリックします。

構成要素ダイアログが表示されます。

操作

非構成要素

要素名(和文): ガソリン

要素名(英文): gas

登録要素名(英文E): gasoline

自動登録の英語名を使う

子要素

主要要素名(N): 【必須】 ガソリン

直近限定要素(Q):

要素個数(I):

目的・機能・(何のため)(Q):

関連情報(Q):

その他(Q):

OK キャンセル 適用

「要素名(英文)」には、辞書参照ダイアログで選択した英訳が表示されます。

6. 自動登録の英語名を使う をクリックします。

「登録要素名」が「要素名」の英単語になります。

7. OK をクリックします。

特徴文で使用している「ガソリン」のすべての訳が「gas」と変更されます。



● 特徴における訳語変更の反映

まず(非)構成要素を追加して、その要素を代入しながら特徴を追加していくといった手順が基本ですが、要素にないものを特徴で使用している場合は、訳語変更を行った後、特徴において訳語変更の反映が必要となります。

たとえば、前述の例を用いると次のような場合です。

「ガソリン」という非構成要素を追加する前に、特徴に「ガソリンの量は運転によって減少する」を追加した場合です。このような場合は、「特徴の変更」を選択して、特徴ダイアログの 適用 またはを OK クリックします。



特徴にある語句の訳語が変更されます。

6.3 ユーザー辞書の選択と登録

Dr. ノイマンには特許用の基本語辞書が搭載されていますが、必要に応じて専門用語を登録したり、訳語を追加してユーザー辞書を構築することは、翻訳精度を高めるのに非常に効果的です。

Dr. ノイマンでは、他のユーザが作成した辞書を参照用として翻訳で使用することもできます。

6.3.1 ユーザー辞書のインポート

Dr. ノイマンでは、他のユーザーが作成したユーザー辞書をインポートして、翻訳の際に参照用として使用することができます。

- インポート可能なユーザー辞書

Dr. ノイマンでインポート可能な辞書は以下のとおりです。

- Dr. ノイマンで作成したユーザー辞書

- Transer JEで作成したユーザー辞書

- PATOLISの日英辞書

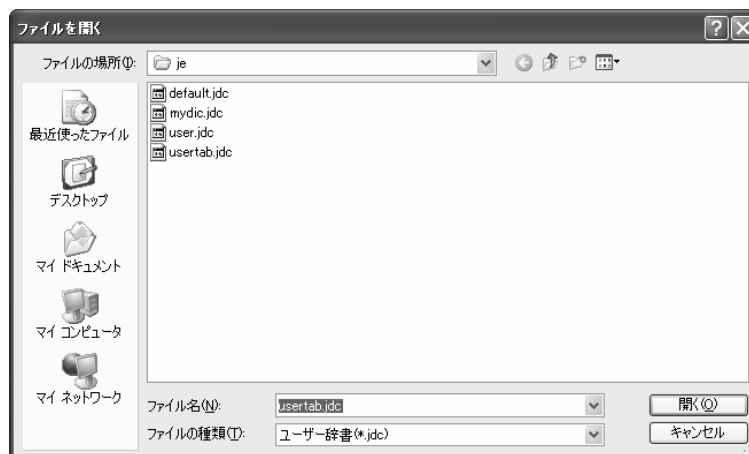
● 参照用ユーザー辞書の設定手順

手順は以下のとおりです。

- 手順 ▶ 1. [設定] - [ユーザー設定]を選択します。
ユーザー設定ダイアログが表示されます。



2. 「参照用ユーザー辞書」にある 参照 をクリックします。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



3. 参照用とする辞書ファイルをダブルクリックして選択します。
ユーザー辞書が設定されます。
4. OK をクリックしてダイアログを閉じます。

● 参照用ユーザー辞書の参照

参照用ユーザー辞書を正しく設定して、「検索語」に入力した語句が参照用ユーザー辞書に存在する場合、辞書参照ダイアログの辞書種別に「インポート辞書」と表示されます。



6.3.2 ユーザー辞書ファイルについて

ユーザー辞書は、デスクトップにある「マイドキュメント」の中のCrossLanguageの中
のAPIフォルダの下にある、user.idxとuser.jdcです。



1つのユーザー辞書は2つのファイルで構成されています。ユーザー辞書
ファイルを別のDr. ノイマンで参照用とする場合は、すべてのファイルをま
とめて移動してください。

6.3.3 ユーザー辞書に単語を登録する

[辞書登録]は、ユーザー辞書への単語の登録や削除を行う機能です。

- 辞書登録ダイアログ

ここでは、辞書登録ダイアログでの基本的な登録方法を説明します。

[登録] - [辞書登録]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



日本語名

日本語の見出し語を入力します。見出し語は、(全角、半角ともに1文字として) 50文字まで登録できます。

直接、文字を入力することもできます。活用がある見出しの場合(たとえば動詞、形容詞など)は、連体形で入力します。

日本語品詞

品詞を選択します。右側の矢印をクリックすると品詞の一覧が表示されるので、適切な品詞を選択します。



登録できる品詞は名詞、動詞、形容(動)詞です。副詞など、一覧に表示されていない品詞は指定できません。

品詞は、次のように区別します。

名詞	活用がなく、人や物事などの名称を表す
	(例) 花、池
動詞	活用があり、「～する」がついたり、語尾の母音が「う」で終わる
	(例) 印刷する、動く
形容詞	活用があり、文末にあるときは「～い」で終わる
	(例) かわいい、楽しい
形容動詞	活用があり、文末にあるときは「～だ」で終わる
	(例) 静かな(静かだ)、有効な(有効だ)

検索

「日本語名」に入力した見出し語がすでにユーザー辞書に登録されているかを検索します。すでに登録されている場合は、既存訳語の編集となります。

日本語活用型

品詞が、動詞または、形容(動)詞の場合、日本語名の活用を指定します。

英語名

英語の訳語を入力します。訳語は半角で200文字まで入力できます。ただし、半角カタカナを入力することはできません。



1つの見出し語に登録できる訳語は、1つのみです。

削除

削除 をクリックすると、[日本語名]ボックスの単語と訳語がにユーザー辞書から削除されます。



いったんユーザー辞書から削除すると、復元することはできません。

● 名詞の登録

【例】「大理石」を「marble」と登録する場合

手順▶ 1. [日本語名]ボックスに「大理石」と入力します。

2. [日本語品詞]を「名詞」と設定します。

3. 検索 をクリックします。

新規見出し語を登録することを確認するメッセージが表示されます。

4. はい をクリックします。

5. [英語名]ボックスに"marble"と入力します。

ユーザー辞書登録

日本語名(N): 大理石

日本語品詞(P): 名詞

日本語活用型化):

英語名(E): marble

分野(F): 一般

作成者(U): CL

登録日時: (未保存)

登録種別: ユーザー辞書

検索(S)

削除(D)

OK

キャンセル

6. OK をクリックします。

単語が登録されます。名詞は、不加算名詞として登録されます。

● 動詞の登録

【例】「飛び跳ねる」を「jump」と登録する

手順

1. [日本語名]ボックスに「飛び跳ねる」と入力します。
2. [日本語品詞]を「動詞」と設定します。
3. 検索 をクリックします。

新規見出し語を登録することを確認するメッセージが表示されます。

4. はい をクリックします。
5. [日本語活用形]を「一段」と設定します。
6. [英語名]ボックスに"jump"と入力します。

ユーザー辞書登録

日本語名(N): 飛び跳ねる

日本語品詞(P): 動詞 検索(S)

日本語活用形(K): 一段 削除(D)

英語名(E): jump

分野(C): 一般

作成者(U): CL

登録日時: (未保存)

登録種別: ユーザー辞書

OK キャンセル

7. OK をクリックします。

新規登録を確認するメッセージが表示されます。

8. OK をクリックします。

単語が登録されます。動詞は、「～が～する」の構文パターンの自動詞で登録されます。

● 形容詞・形容動詞の登録

【例】【例】「かいがいしい」を「faithful」と登録する

手順

1. [日本語名]ボックスに「かいがいしい」と入力します。
2. [日本語品詞]を「形容詞・形容動詞」と設定します。
3. 検索 をクリックします。

新規見出し語を登録することを確認するメッセージが表示されます。

4. はい をクリックします。
5. [日本語活用形]を「形容詞」と設定します。
6. [英語名]ボックスに"faithful"と入力します。

ユーザー辞書登録

日本語名: かいがいしい

日本語品詞: 形容詞・形容動詞

日本語活用型: 形容詞

英語名: faithful

分野: 一般

作成者: CL

登録日時: (未保存)

登録種別: ユーザー辞書

検索

削除

OK

キャンセル

7. OK をクリックします。

新規登録を確認するメッセージが表示されます。

8. OK をクリックします。

単語が登録されます。形容詞は、「～が～しい」の構文パターンで登録されます。

第7章 文書の入出力

この章では、Dr. ノイマンでの文書の読み込みと保存の方法について説明します。

7.1 文書の入力

7.1.1 ファイルを開く

Dr. ノイマンでは翻訳ファイル（Dr. ノイマンで作成されるファイル）を開いて、メイン画面に読み込みます。[ファイル] - [開く]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



翻訳したいファイル名をダブルクリックすると、ファイルが読み込まれます。読み込みたいファイルを選択して、開く をクリックするか、Enterキーを押しても、ファイルを読み込むことができます。

- 最新の文書ファイルを読み込む

[ファイル]メニューの下部には最近使用されたファイルの一覧が表示されます。

新規作成(N)	Ctrl+N
開く(O)...	Ctrl+O
上書き保存(S)	Ctrl+S
名前を付けて保存(A)...	
和文インポート(Q)	Ctrl+I
特徴文のエキスポート(E)...	
プロパティ(P)...	
1 car.apj	
2 D:*Dr. Neumann\data#laundry.apj	
3 D:*Dr. Neumann\data#method.apj	
4 D:*Dr. Neumann\data#無題.apj	
5 D:*Dr. Neumann\data#temp.apj	
6 D:*Dr. Neumann\data#test1.apj	
7 D:*Dr. Neumann\data#test2.apj	
8 emulsions.apj	
9 D:*Dr. Neumann\data#test.apj	
10 emulsions1.apj	
アプリケーションの終了(C)	

開きたいファイル名を選択すると、ファイルが読み込まれます。

7.1.2 新規作成

新しい請求項を作成するには、[ファイル] - [新規作成]を選択します。発明情報ダイアログが開くので、必要な情報を適宜入力して新しい請求項を作成していきます。

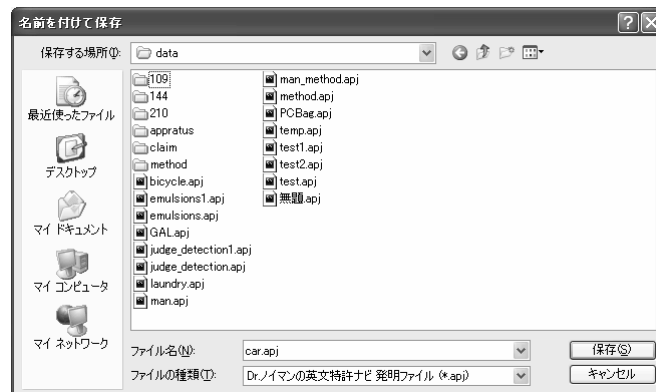
Dr. ノイマンを起動した直後も、[新規作成]と同じ状態です。

7.2 文書の保存

7.2.1 保存

Dr. ノイマンでは、作業中の文書に名前を付けて保存することができます。

[ファイル] - [名前を付けて保存]を選択すると、名前を付けて保存ダイアログが表示されます。ここで、作業中の文書に適切なファイル名を付けて保存します。



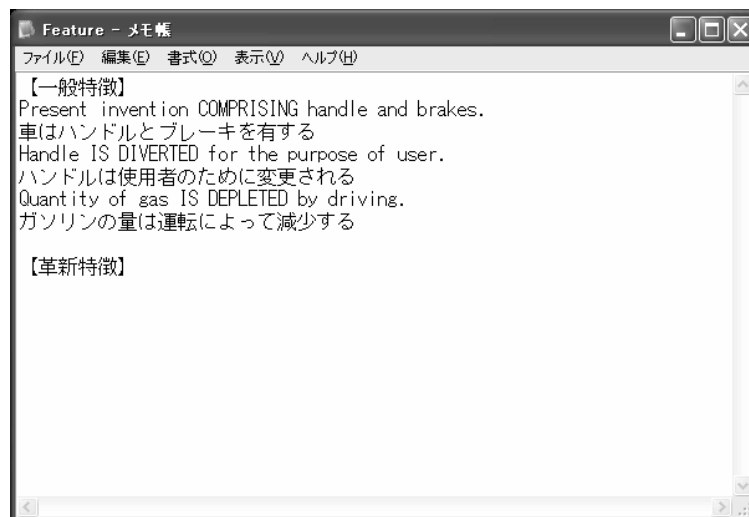
ヒント

作業中の文書のファイル名や保存場所を変更せずに保存する場合は、[上書き保存]を選択してください。

7.2.2 特徴文のエクスポート

Dr. ノイマンでは、生成されたメインクレームと従属クレームの特徴文をテキストファイルに保存することができます。

[ファイル] - [特徴文のエクスポート] を選択すると、メモ帳が起動して、特徴文が読み込まれます。



必要に応じてメモ帳から保存・印刷してください。

第8章 環境の設定

Dr. ノイマンではクレーム文作成の環境を設定することができます。
また、特徴文のフォントを指定することもできます。
この章では、環境の設定について説明します。

8.1 ユーザー設定

起動、または、新規作成で表示される発明情報ダイアログの初期状態とユーザー辞書の設定を行えます。

[設定] - [ユーザー設定]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



ユーザー名

初期状態では、コンピュータにログインした際のユーザー名が表示されます。ここで設定した内容が、新規作成の際の「発明者氏名」に設定されます。

ユーザー所属

本システムを使用しているユーザーの所属部署名を設定します。ここで設定した内容が、新規作成の際の「発明者所属」に設定されます。

デフォルト発明分野

「機械（物）」、「電気（物）」、「IT（方法）」から指定します。ここで設定した内容が、新規作成の際の「発明の分野」に設定されます。

デフォルト特許形式

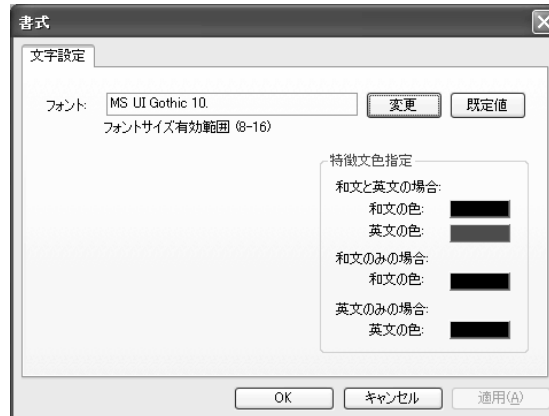
「米国形式」または「欧州形式」から指定します。ここで設定した内容が、新規作成の際の「特許形式」に設定されます。

参照用ユーザー辞書

参照用として翻訳で使用するユーザー辞書を指定します。参照 をクリックするとファイルを開くダイアログが表示されるので、辞書ファイルを指定します。

8.2 書式

表示フォントを指定します。印刷の際のフォントを指定するものではありません。
[設定] - [書式]を選択すると、次のダイアログが表示されます。



フォント

Dr. ノイマンのメイン画面で使用するフォントを指定します。 **変更** をクリックするとフォントダイアログが表示されるので、使用するフォントやフォントサイズを指定します。 **規定値** をクリックすると初期状態に戻ります。

特徴文色指定

メインクレームと従属クレームに登録された特徴文の表示色を指定します。各項目の色を変更する場合は、各項目にある色の矩形をクリックします。色の設定ダイアログが表示され、色を指定することができます。また、新規に色を作成することもできます。

索引

D		け	
Dr. ノイマンとは	2	形容詞・形容動詞の登録	100
I		こ	
ITの従属クレーム	71	構成要素	4, 56
い		さ	
一般特徴	5	最新の文書ファイルを読み込む	102
意味クラス	5	参照用ユーザー辞書の設定手順	94
インポート可能なユーザー辞書	93	し	
う		辞書登録ダイアログ	
上書き保存	103	削除ボタン	97
か		辞書の構成	87
革新特徴	4	辞書の参照	87, 88
格要素	5	辞書の優先順位	88
き		従属クレーム	5, 69
機械（物）に関するクレーム文の作成	7	削除	72
機械の従属クレーム	69	追加	72
機能	2	変更	72
基本語辞書	87	従属クレームのツリー	53, 54
く		従属特徴	54
クレーム文作成の流れ	8, 26, 46	終了	24, 44
クレーム文作成の前に	52	書式	107
クレーム文生成の処理	74	新規作成	103
クレーム生成の範囲	6	す	
クレーム文の生成	24, 44, 73	ステップ	4, 68
		削除	68
		操作	68
		追加	68

変更.....	68	は	
		発明の分野.....	6
せ		ひ	
説明文の作成.....	77	非構成要素.....	4, 66
専門語辞書.....	88	削除.....	67
		操作.....	67
て		追加.....	67
適用範囲.....	6	特徴.....	67
電気の従属クレーム.....	69	表示.....	67
テンプレート.....	5	変更.....	67
選択.....	83		
登録.....	85	ふ	
テンプレートとは.....	82	ファイル	
テンプレートの登録.....	20, 40	開く.....	102
		ファイルの保存.....	24, 44
と		プロセスの流れ.....	3
動詞の登録.....	99	プロパティ.....	80
特徴.....	4, 61	文書の入力.....	102
位置の変更.....	65	文書の保存.....	103
削除.....	65		
追加.....	61	ほ	
特徴文を表示する言語.....	65	保存.....	103
特許請求項の入力.....	10, 28		
特徴文のエクスポート.....	104	め	
特許文の細分化.....	9	名詞の登録.....	98
特許明細書の読み込み.....	47		
		や	
な		訳語の変更.....	17, 37, 89
名前を付けて保存.....	103		
		ゆ	
に		ユーザー辞書.....	87
日本語特許明細書の読み込み.....	47	インポート.....	93
日本語名.....	96	辞書登録ダイアログ.....	96
		単語の登録.....	96

ユーザー辞書ファイル.....	95	分類	57
ユーザー設定.....	106	変更	58
ユーザーテンプレートの登録.....	85	要素名の確認.....	59
		要素名を表示する言語.....	60
よ			
用語	4	り	
要素		利点	2
構成要素ダイアログ.....	57	わ	
削除	60	和文インポート.....	47, 74
順序の変更.....	59		
追加	57		

Dr. ノイマン V1 for Windows

ユーザーズ・ガイド

ユーザーサポート

株式会社クロスランゲージ ユーザーサポート

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-20-9 西早稲田オーシャンビル7F

TEL 03-3208-7671 FAX 03-5287-7585

E-mail : support@crosslanguage.co.jp

祝祭日を除く月曜日～金曜日10:00-12:00 13:00-17:00

発行日	2006年 2月 初版
編集 / 発行	株式会社クロスランゲージ 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-20-9 西早稲田オーシャンビル7F
ホームページ	http://www.crosslanguage.co.jp/